

モーターボート競走公益資金による
財団法人日本船舶振興会の補助事業

標準非木造住宅の再建築費等に関する調査研究

—主要都市における建築費に係る地域差—

昭和 63 年 3 月

財団法人 資産評価システム研究センター

は し が き

財団法人資産評価システム研究センターは、主として地域の資産に関する調査研究の実施を目的として、昭和53年5月発足しました。

当評価センターにおける調査研究は、資産評価の基礎理論及び地方公共団体における資産評価技法の両面にわたって、毎年度、学識経験者並びに自治省、地方公共団体等の関係者をもって構成する資産評価システム、土地、家屋及び償却資産の各部門ごとの研究委員会において行われ、その成果は、直接、会員である地方公共団体等に配布のうえ、その活用を期待するとともに、当評価センターの実施する研修会、資料・情報の発行等、会員に対する便益提供のための各種事業の基盤ともなってきたところであります。

ここに、昭和62年度における調査研究の成果をとりまとめ公表することになりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議をいただいた研究委員各位並びに実施調査に当たって種々ご協力を賜った地方公共団体関係者各位に心から感謝申しあげる次第であります。

なお、当評価センターは、今後とも所期の目的にそって、事業内容の充実のためさらに努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係団体の皆様の一層のご指導、ご援助をお願い申しあげる次第であります。

最後に、この調査研究事業は、モーターボート競走公益資金による財団法人日本船舶振興会の補助金の交付を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表するものであります。

昭和63年3月

財団法人 資産評価システム研究センター
理事長 花 岡 圭 三

研 究 組 織

家屋研究委員会

(委員長)	松 下 清 夫	東京大学名誉教授
(委員)	加 藤 裕 久	小山工業高等専門学校教授
	宍 道 恒 信	宍道建築設計事務所長
	西 沢 博	電気通信共済会建築部調査役
	上 杉 啓	東洋大学教授
	吉 田 倬 郎	工学院大学助教授
	黒 田 隆	(財)建設物価調査会技術顧問
	斎 藤 順 男	清水建設(株)設備部長
	関 根 繁 夫	オークビルサービス(株)業務部次長
	長 畑 明 芳	住宅金融公庫建設指導部次長
	小 坂 紀一郎	自治省税務局府県税課長
	佐 野 徹 治	自治省税務局固定資産税課長
	小 野 二 夫	自治省税務局固定資産税課固定資産鑑定官
	野 上 敏 行	(財)資産評価システム研究センター調査研究部長
(専門員)	中 村 秀 文	自治省税務局固定資産税課家屋第1係長
	市 瀬 惟 義	(財)資産評価システム研究センター主任研究員
	坪 井 繁 夫	(財)資産評価システム研究センター主任研究員

委員委員附屬

東京大津谷管總	大 南 丁 登 (委員委)
小山工業高等專門學校	八 南 鼎 瓜 (員 委)
中央圖書館	番 番 飯 夫
東京大津谷管總	制 秀 西
東京大津谷管總	春 沐 土
東京大津谷管總	旗 耕 田 吉
東京大津谷管總	錦 田 果
東京大津谷管總	長 取 兼 直
東京大津谷管總	夫 家 野 閑
東京大津谷管總	菅 柳 取 央
東京大津谷管總	酒 一 塚 琴 小
東京大津谷管總	所 隆 博 道
東京大津谷管總	夫 二 禮 小
東京大津谷管總	行 雄 土 禮
東京大津谷管總	文 衣 村 中 (員門專)
東京大津谷管總	錦 計 藤 市
東京大津谷管總	夫 實 林 野

目 次

I 調査研究の目的等	1
1 目 的	1
2 調査方法	1
(1) 意 義	1
(2) 調査対象家屋	1
(3) 調査項目	2
(4) 調査の方法	2
3 調査結果の集計	2
(1) とりまとめ方	2
(2) 凡 例	2
II 調査結果の概要—昭和62年度調査—	4
1 調査対象家屋の概況	4
2 共同住宅（R C造）に係る建築価額等の調査	6
(1) 建築価額等の状況	6
(2) 建築価額等の地域差	9
ア 概 要	9
イ 地 域 差	13
(3) 評点水準の状況等	16
3 部分別の施工状況等の調査	19
(1) 再建築費評点数の部分別構成比	19
(2) 再建築費評点数の地域別部分別構成比	20
4 主要資材に係る価格の状況調査	22
(1) 生コンクリート	22
(2) 鉄 筋	24
5 施工会社及び販売形態の状況調査	26
(1) 施工会社の状況	26
(2) 販売形態の状況	27

Ⅱ	調査結果—昭和60年度～62年度をまとめて—	28
1	目 的	28
2	調査対象家屋の年度別比較	28
3	過去3年間の調査結果概要	30
Ⅳ	計数資料等	37
1	共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況	37
2	共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況	38
3	共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況	39
4	主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況	40
5	建築設備に係る部分別設備別評点数	41
6	主要資材価格、施工会社及び販売形態の状況	45
7	調査対象家屋の部分別仕上げ資材一覧	46
Ⅴ	参考資料	94
1	主要建築資材の卸売物価指数	94
2	RC造居住専用建物の工事費予定額等	95

I 調査研究の目的等

1 目 的

再建築価格は、家屋の価格の構成要素として基本的なものであり、その評価の方式化も比較的容易であるため、地方税(固定資産税及び不動産取得税)における家屋の評価においても再建築価格を基準とする評価方法が採用されているところである。

当センターでは専ら地方公共団体における評価実務の参考に供するため昭和60年度から非木造の共同住宅(鉄筋コンクリート造)を対象として全国主要都市における建築費の実態、建築費と再建築価格を基準とした評価額との相関関係等について調査研究を行ってきたところであり、昭和62年度においても60年度、61年度に引き続き同様の調査研究を行なうこととしたものである。

なお、この調査研究の主な目的は次のとおりである。

- ① 全国主要都市における標準的な共同住宅(RC造)の建築価額を把握すること。
- ② 標準的な共同住宅(RC造)の構造、様式、形状、規模、使用資材及びその施工の状況を把握するとともに、その地域差を明らかにすること。
- ③ 標準的な共同住宅(RC造)に係る建築価額とその主要構成部分割合について、全国主要都市間の地域差の状況を把握すること。

2 調査方法

(1) 意 義

この調査は原則として昭和61年中に建築された共同住宅(RC造)で、その様式、規模及び形状が中庸である家屋を、各調査対象都市から各1棟抽出し、調査・分析することにより、地域差等を統計的に推定しようとするものである。

(2) 調査対象家屋

- ① 用途・構造 鉄筋コンクリート造共同住宅(昭和61年中に新築されたもので、パネル式工法以外のもの)
- ② 選定棟数 原則として都道府県庁所在都市ごとに1棟(総数47棟)
- ③ 程度・規模 3～5階建(地階のないものに限る。) 住戸数が30戸程度のもの。ただし、その様式、規模及び形状が中庸

なもの。

(3) 調査項目

ア 調査対象家屋に係るもの

- ① 建築価額
- ② 構造、様式、形状及び使用資材別施工量
- ③ 再建築費評点数の算出根拠（部分別内訳）
- ④ 施工会社及び販売形態

イ その他

その他建築費に関する必要事項

(4) 調査の方法

- ① 調査対象家屋の所在する都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査（41棟）
- ② 上記の調査に基づく、当センター家屋研究委員会委員による実地調査（本年度対象都市 新潟市、富山市、名古屋市、大阪市、広島市、熊本市）

3. 調査結果の集計

(1) とりまとめ方

この研究成果は、調査対象都市の固定資産評価担当職員に対するアンケート調査に基づいて、当センターの家屋研究委員会の委員が、適宜、実地調査を行い、更に、報告された各データについて精査、調整の上、整理集計するとともに若干の分析を加えて取りまとめたものである。 意 (1)

また、今年度は昭和60年度を基準年度とする評価の最終年度であることから、3ヶ年分のデータについて、若干の分析を行った。

(2) 凡 例

収録事項の主な用語の定義等はおりのとおりである。

- 建築価額 所有者が建築業者に支払った建築費（諸経費を含む。）で家屋評価の対象部分に相当する延べ床面積1.0㎡当たりの価額
- 再建築費評点数 延べ床面積1.0㎡当たりの再建築費評点数
- 平均 注記していない限り算術平均とした。

○ 標準偏差

$$\text{標準偏差 (s)} = \sqrt{\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}{n-1}}$$

○ データの範囲

データの範囲 (R) = 最大値 (最高) - 最小値 (最低)

○ 評点水準

$$\text{評点水準 (\%)} = \frac{\text{「再建築費評点数」}}{\text{「建築価額」}} \times 100$$

○ 北海道地域

札幌市

○ 東北地域

青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、米沢市及び福島市

○ 北関東地域

水戸市、宇都宮市及び前橋市

○ 南関東地域

浦和市、千葉市、東京都 (特別区) 及び横浜市

○ 北陸地域

新潟市、富山市、金沢市及び福井市

○ 中部地域

甲府市、長野市及び岐阜市

○ 中京地域

静岡市、名古屋市及び津市

○ 北近畿地域

大津市、京都市及び奈良市

○ 南近畿地域

大阪市、神戸市及び和歌山市

○ 山陰地域

鳥取市及び松江市

○ 山陽地域

岡山市、広島市及び山口市

○ 四国地域

徳島市、高松市、松山市及び高知市

○ 北九州地域

福岡市、佐賀市及び長崎市

○ 南九州地域

熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市及び那覇市

Ⅱ 調査結果の概要—昭和62年度調査—

1 調査対象家屋の概況

昭和62年度の調査において、各都市から調査対象家屋として選定された家屋の階数、住戸数、延べ床面積等を示すと表1のとおりである。階数については3～5階建を指定したが、6階建のものが4棟、7階建のものが2棟あった。また、住戸数においても、30戸程度のものを指定したが、20戸以下のものが10棟、40戸以上のものが3棟あった。一戸当たり延べ床面積については、特に指定しなかったが、かなり小さいものが見受けられた。

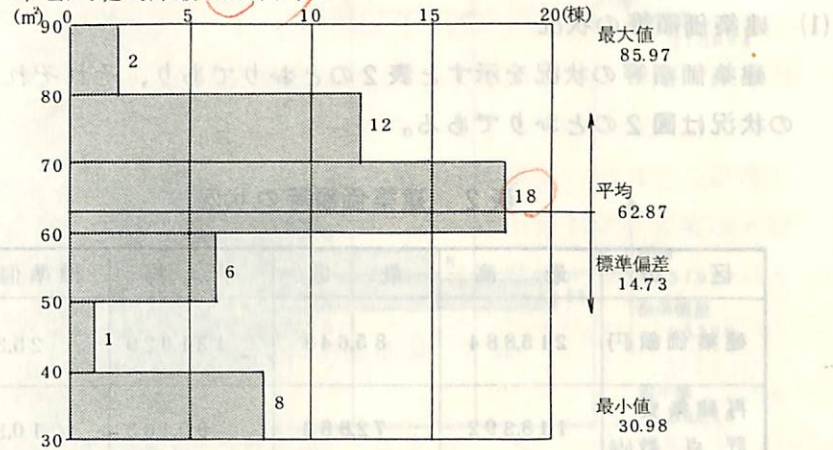
表1 調査対象家屋の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標準偏差
(階) 階 数	7	8	4.3	1.0
(戸) 住 戸 数	98	12	27.5	12.8
(m^2) 延べ床面積	6,856.09	433.73	1,732.99	974.34
($m^2/戸$) 一戸当たり 延べ床面積	85.97	30.98	62.87	14.73

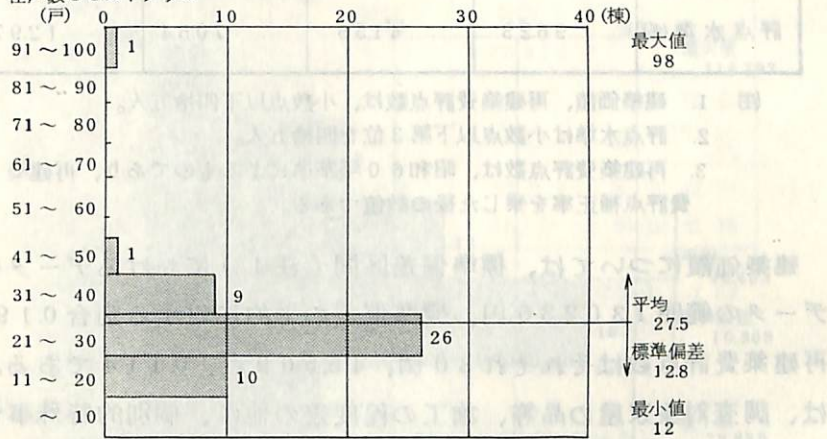
- 註1. 階数、住戸数は、小数第2位を四捨五入。
2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積は、小数第3位を四捨五入。
3. 延べ床面積は、建物内の階段等の共有部分に係る床面積を含む。

なお、調査対象家屋における階数、戸数及び一戸当たり延べ床面積の段階別区分の状況を示したのが、図1である。

一戸当たり延べ床面積のヒストグラム



住戸数のヒストグラム



階数のヒストグラム

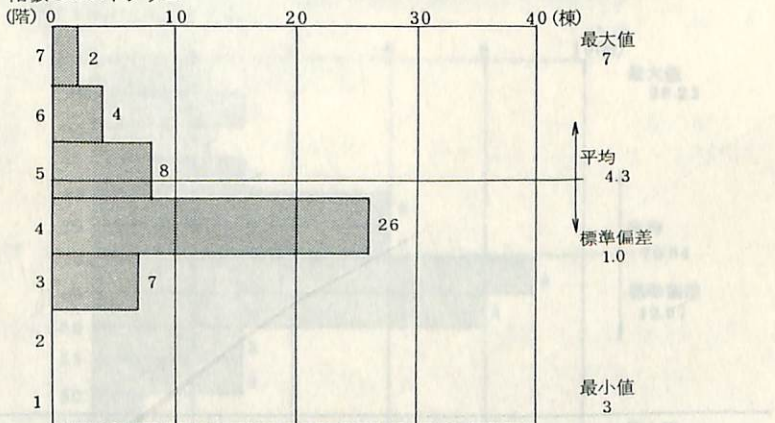


図1 階数等の段階別区分状況

2 共同住宅（RC造）に係る建築価額等の調査

(1) 建築価額等の状況

建築価額等の状況を示すと表2のとおりであり、それぞれの段階区分別の状況は図2のとおりである。

表2 建築価額等の状況

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差
建築価額(円)	215,884	85,648	131,929	25,399
再建築費 評点数(点)	118,392	72,883	90,463	10,368
評点水準(%)	96.23	41.55	70.54	12.97

- (注) 1. 建築価額、再建築費評点数は、小数点以下四捨五入。
2. 評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。
3. 再建築費評点数は、昭和60年基準によるものであり、再建築費評点補正率を乗じた後の数値である。

建築価額については、標準偏差区間（注1）におけるデータの数34個、データの範囲130,236円、標準偏差の平均に対する割合0.193であり、再建築費評点数はそれぞれ30個、45,509点、0.114である。建築価額は、調査対象家屋の品等、施工の程度差の他に、個別的特殊事情による取引価格の偏差が反映されていると考えられる。

(注1) 標準偏差区間

平均： \bar{X} 、標準偏差 S （以下、同じ。）の時 $\bar{X} \pm S$ の区間を意味し、正規分布において、この区間内に全データの68.3%のデータが存在する。

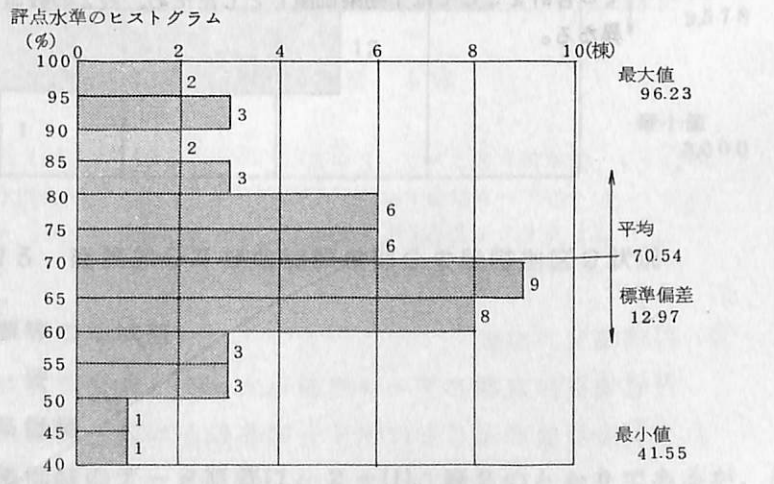
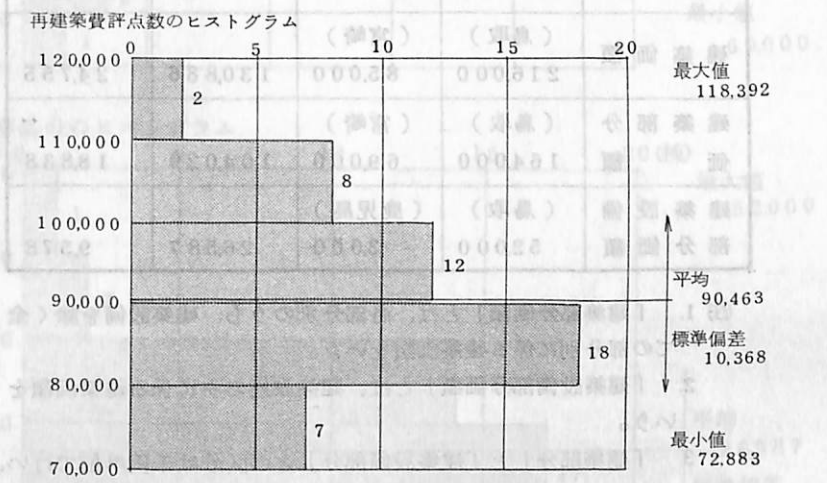
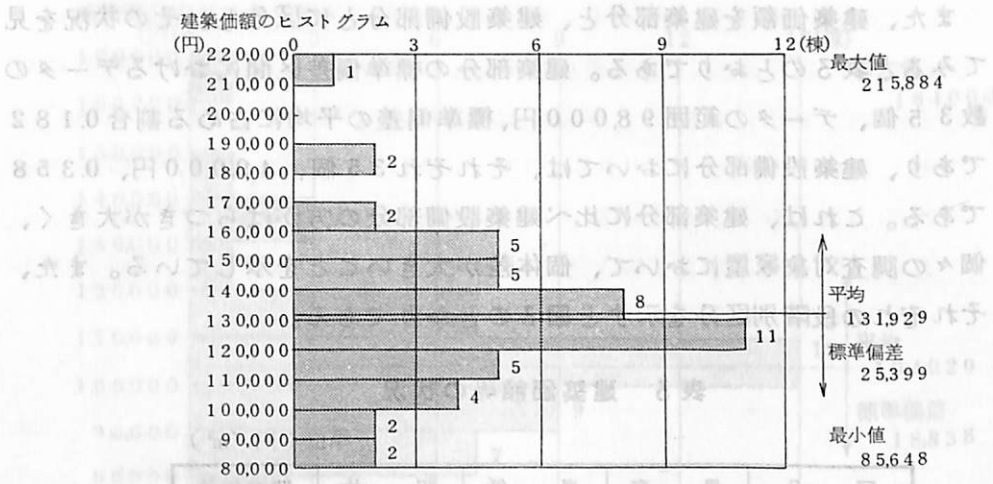


図2 建築価額等の段階別区分状況

また、建築価額を建築部分と、建築設備部分とに区分し、その状況を見てもみると表3のとおりである。建築部分の標準偏差区間におけるデータの数35個、データの範囲98,000円、標準偏差の平均に占める割合0.182であり、建築設備部分においては、それぞれ35個、49,000円、0.358である。これは、建築部分に比べ建築設備部分の方がばらつきが大きく、個々の調査対象家屋において、個体差が大きいことを示している。また、それぞれの段階別区分を示すと図3のとおりである。

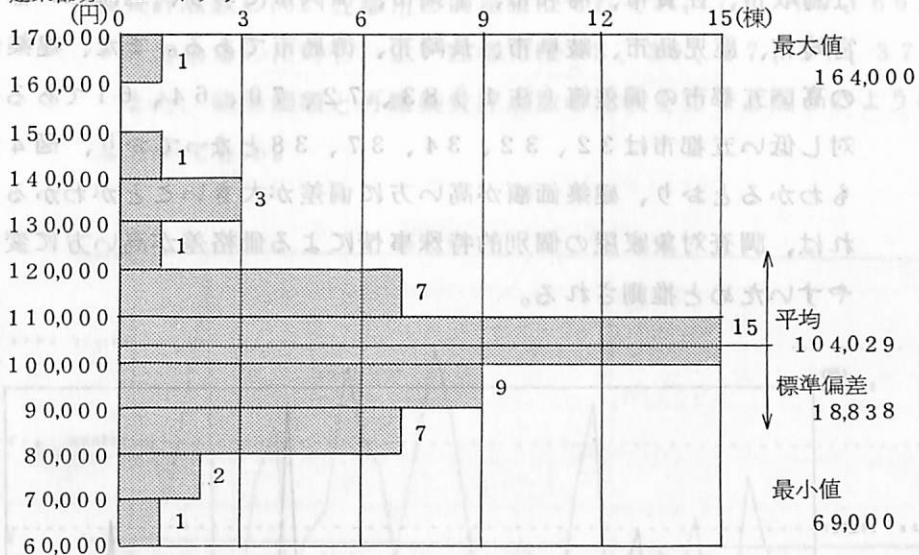
表3 建築価額等の状況

(単位：円/㎡)

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差
建 築 価 額	(鳥取) 216,000	(宮崎) 85,000	130,886	24,755
建 築 部 分 価 額	(鳥取) 164,000	(宮崎) 69,000	104,029	18,838
建 築 設 備 部 分 価 額	(鳥取) 52,000	(鹿児島) 3,000	26,587	9,578

- 注 1. 「建築部分価額」とは、各部分別のうち、建築設備を除く全ての部分別に係る建築価額をいう。
2. 「建築設備部分価額」とは、建築設備のみに係る建築価額をいう。
3. 「建築部分」と「建築設備部分」との区分は千円単位で行い、その合計をここでは「建築価額」としたため、表2の数値とは異なる。

建築部分のヒストグラム



建築設備部分のヒストグラム

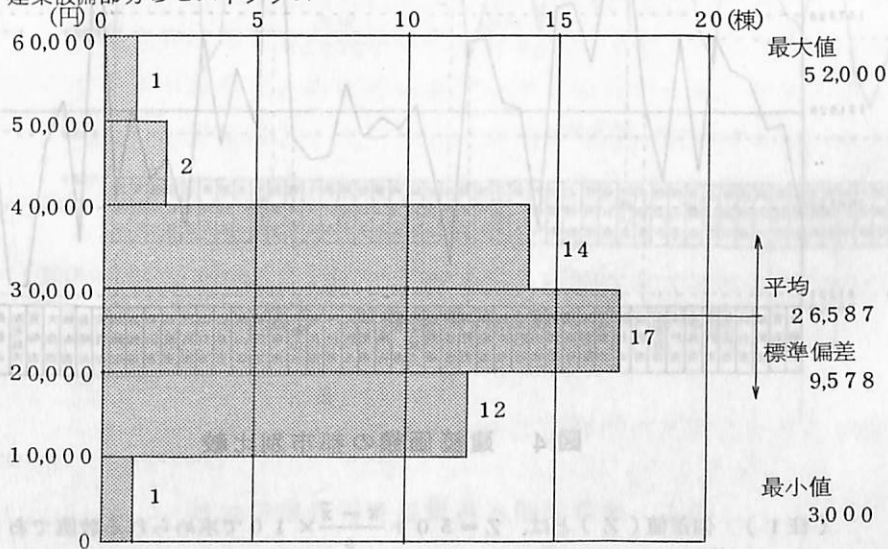


図3 建築部分及び建築設備部分の段階別区分状況

(2) 建築価額等の地域差

ア 概要

① 建築価額

建築価額のデータ概要は、2-(1)、表2のとおりであるが、これを調査対象都市ごとに示すと図4のとおりである。建築価額の高い都市

は鳥取市、佐賀市、浦和市、千葉市、横浜市であり、逆に低い都市は、宮崎市、鹿児島市、岐阜市、長崎市、徳島市である。また、建築価額の高い五都市の偏差値（注1）83、72、70、64、61であるのに対し低い五都市は32、32、34、37、38となっており、図4からもわかるとおり、建築価額が高い方に偏差が大きいことがわかる。これは、調査対象家屋の個別的な特殊事情による価格差が高い方に変動しやすいと推測される。

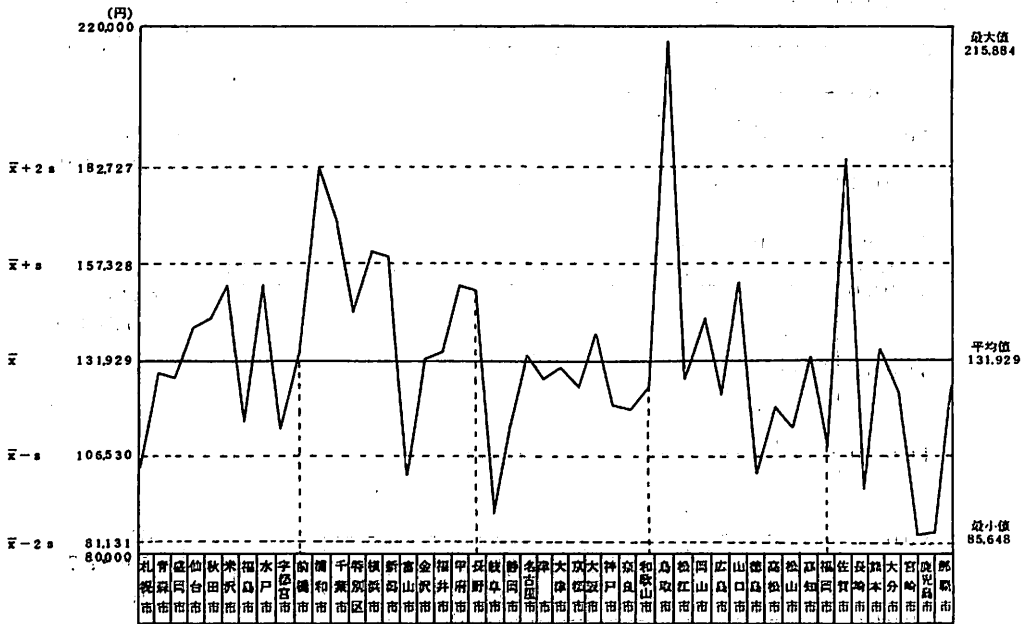


図4 建築価額の都市別比較

(注1) 偏差値(Z)とは、 $Z = 50 + \frac{x - \bar{x}}{s} \times 10$ で求められる数値であり、個々のデータ数値(x)と平均値(\bar{x})との差を標準偏差(s)を尺度として表したものである。したがって、 $x = \bar{x}$ の時 $Z = 50$ 、 $x = \bar{x} \pm as$ の時、 $Z = 50 \pm 10a$ となる。

② 再建築費評点数

再建築費評点数のデータ概要は2-(1)、表2のとおりであるが、これを調査対象都市ごとに示すと図5のとおりとなる。再建築費評点数の高い都市は、秋田市、福井市、特別区、大阪市、甲府市となり、逆に低い都市は大分市、米沢市、熊本市、山口市、岐阜市となる。再建

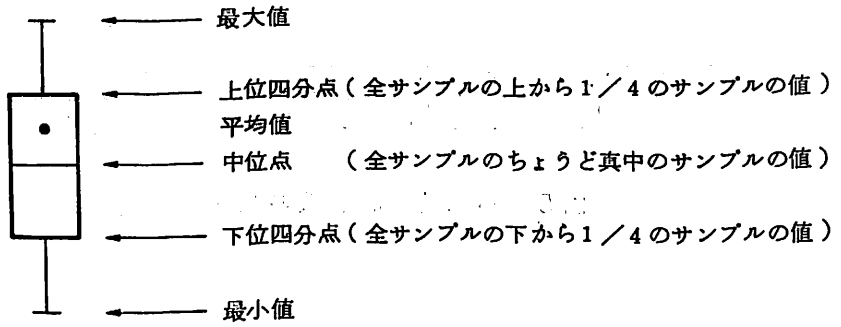
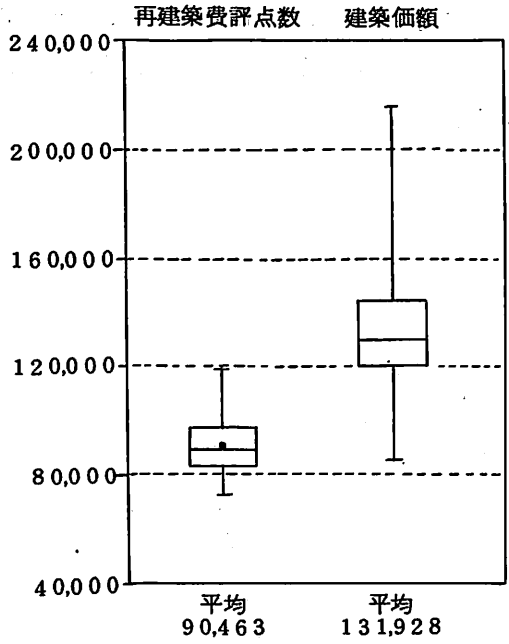


図6 建築価額と再建築費評点数の比較

イ 地域差

① 建築価額

全国を14地域に区分し、調査対象家屋の建築価額を示したものが表4である。

表4 建築価額の地域差

(単位：円)

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
102,692	134,628	133,702	163,501	131,967	130,799	125,063	125,002	128,233	171,118	139,900	117,425	130,545	111,294

表4を見ると、山陰、南関東が際立って高く、北海道、南九州、四国の順に低い。これを、さらに各調査対象都市別に見ていくと、山陰が高いのは鳥取市の建築価額が高いためであり、しかも、この地域のデータが鳥取市と松江市の2データしかないため、平均が高くなっている。南関東は、4データとも全国平均を上回っており、おおむね建築価額が高いと言える。低い方では、北海道は札幌市のデータだけであり、調査対象家屋の個別的要因を考えると、建築価額についての判断はできない。しかし、南九州、四国はそれぞれ5データのうち4データ、4データのうち3データが全国平均を下回っており、建築価額が低いと言える。

また、各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図7である。

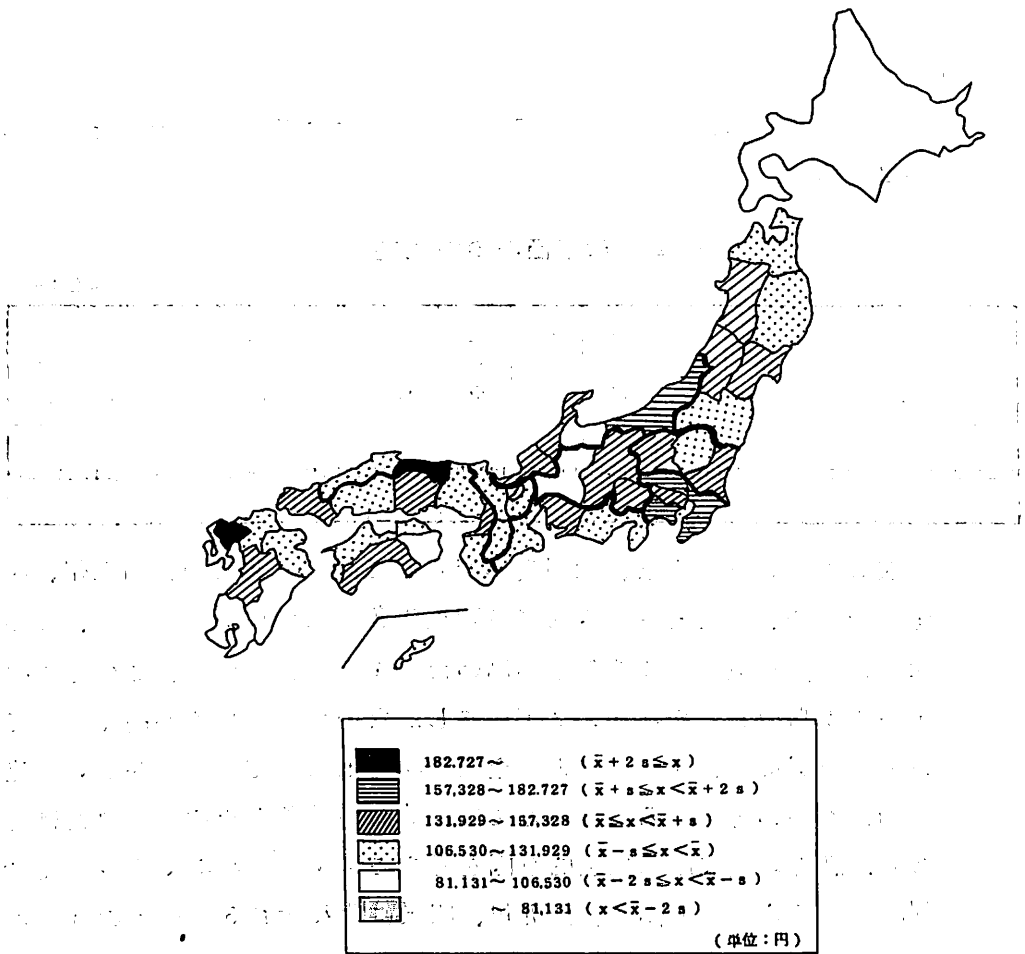


図7 建築価額の地域別状況

図7を見ると、関東近辺の建築価額が高く、近畿地方の建築価額が南北を問わず、安いことがわかる。また、相対的に見ると、東日本の建築価額は高く、西日本の建築価額が安いと言える。

② 再建築費評点数

建築価額と同様に、全国を14地域に区分し、調査対象家屋の再建築費評点数を示したものが表5である。

表5 再建築費評点数の地域差

(単位:点)

北海道	東北	北関東	南関東	北陸	中部	中京	北近畿	南近畿	山陰	山陽	四国	北九州	南九州
98,288	95,289	94,348	98,846	99,419	91,856	87,511	87,096	90,977	87,556	83,898	89,449	86,274	77,975

表5を見ると、北陸、南関東、北海道の順で高く、南九州、山陽、北九州の順に低くなっている。しかし、南九州を除くと他の地域の平均値はすべて標準偏差区間に入っており、再建築費評点数においては、比較的地域差はないと言える。これは調査対象家屋の一戸当たり床面積、階数、住戸数、延べ床面積、等のバラッキ、及び各戸の間取り等を特に指定しなかったことを考えると、今回の調査対象家屋の品等、施工の程度の地域差は少なかったと考えられる。

また、各調査都市のデータを各都道府県別に表したものが図8である。

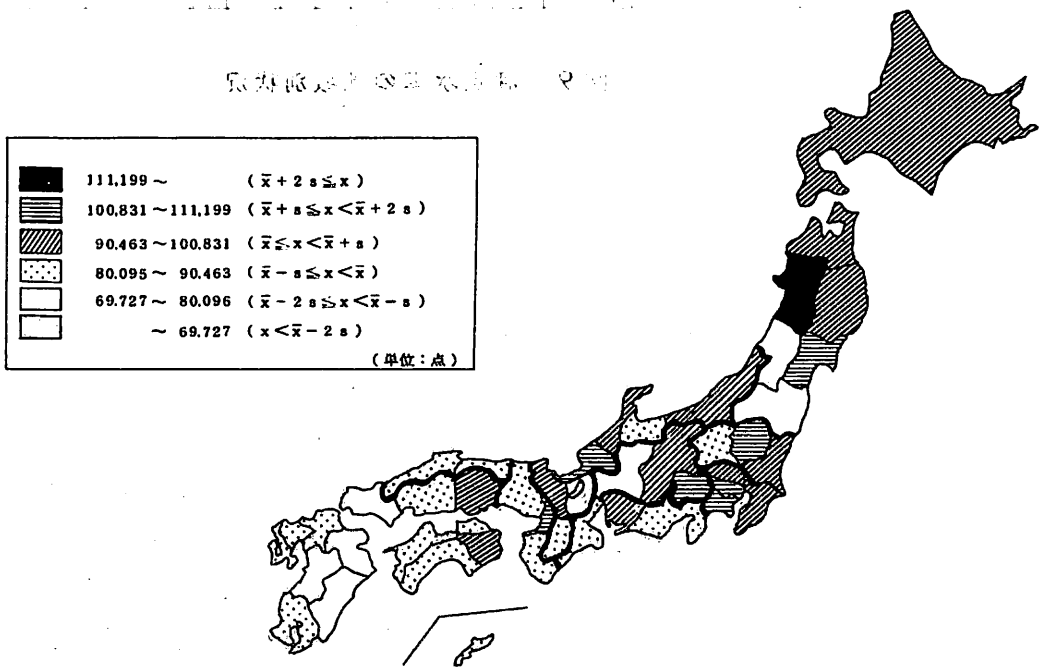


図8 再建築費評点数の地域別状況

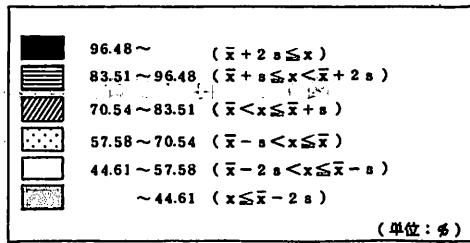
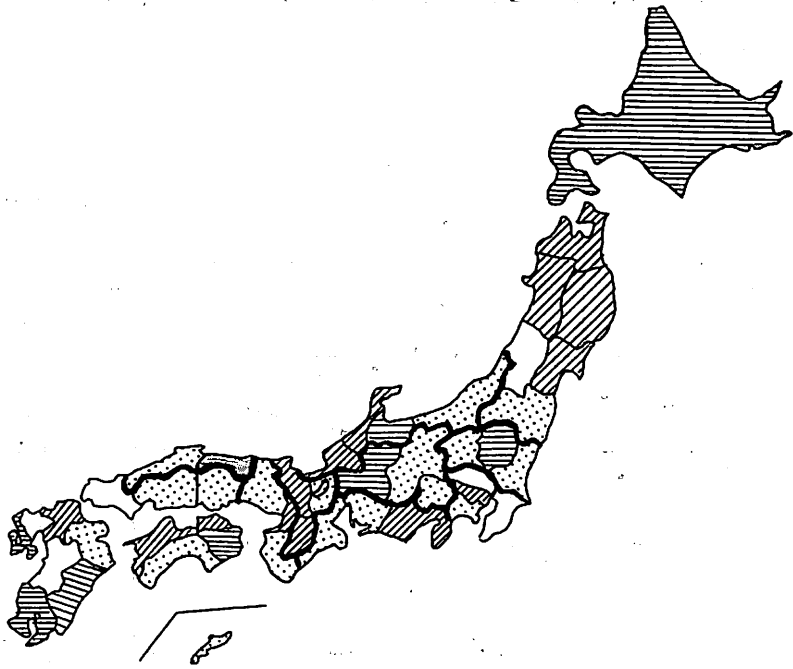


図 10 評点水準の地域別状況

評点水準の平均、最高、最低、標準偏差は2-(1)、表2のとおりであり、他にデータの範囲54.16%、標準偏差の平均に対する割合0.183、標準偏差区間におけるデータの数は32個であり、全データの68.08%を占めている。これは評点水準においても、建築価額や再建築費評点数と同様にかんりの偏差があることを示している。しかし、評点水準は凡例で定義したとおり、建築価額と再建築費評点数の関係で定まるものであり、具体的には両者の比較関連を行うことによって分析することとなる。このため、両者の散布図を表すと図11のとおりとなり、相関係数は0.269、回帰式(図中の

直線の式)は $Y = aX + b$ 、 $a = 0.109464$ 、 $b = 75,974.8$ となっている。

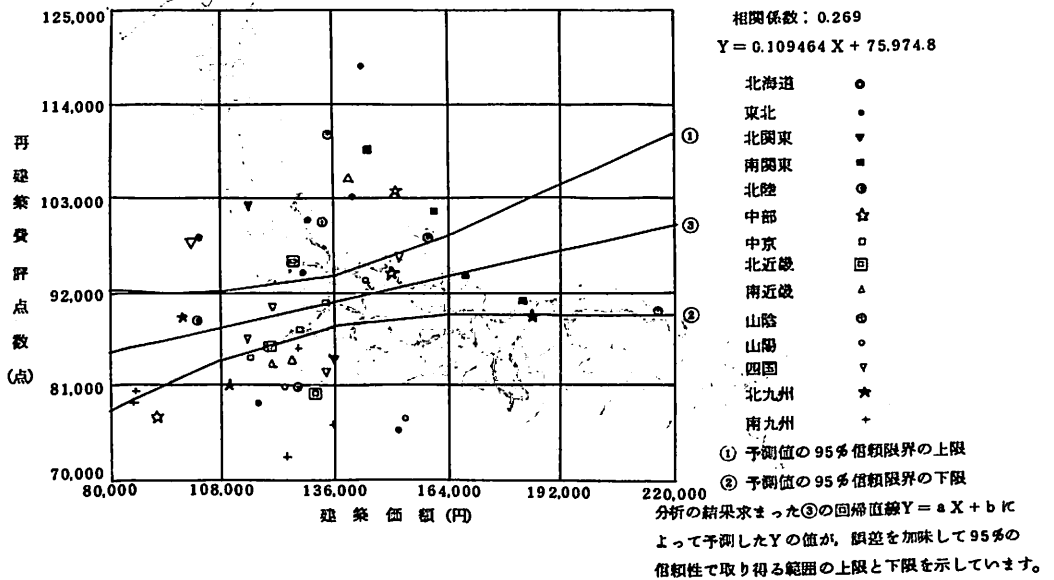


図11 再建築費評点数と建築価額

建築価額と再建築費評点数は、正の相関関係にあるものの、相関係数は、過去三年間の調査の中で最も低い数値となっており、今回のデータからは両者の関係を結論付けることはできない。aの値が小さいのは、建築価額の伸びに比べ、再建築費評点数の伸びが小さいことを示し、相関係数が小さい数値となっているのは、建築価額が増加しても、再建築費評点数が増加しないデータが多いことを示している。これは調査対象家屋の規模、構造等を指定して行ったため、各サンプルの建築価額の差が品等、施工の程度差による場合の外、再建築費評点数に直接反映されないこと、また、評価に現われない部分での価格差があること等のためであると考えられる。

3 部分別の施工状況等の調査

(1) 再建築費評点数の部分別構成比

昭和62年度の調査対象家屋について、固定資産評価基準に定める各部分別の再建築費評点数の構成状況を見ると表6のとおりである。

表6 再建築費評点数の部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体 構造部	基 礎	間 仕 切 骨 組	外 部 仕 上 げ	内 部 仕 上 げ	床 仕 上 げ	天 井 仕 上 げ	屋 根 仕 上 げ	建 具	仮 設 工 事	そ の 他 の 工 事	建 築 設 備
最 高	44.18	9.67	3.60	8.22	14.38	8.35	5.27	5.56	21.42	4.81	6.42	32.59
最 低	24.99	0.50	0.04	0.75	5.82	3.82	1.53	0.58	6.37	2.34	1.71	8.95
平 均 (構成比)	33.88	4.95	1.69	3.93	9.39	5.37	3.23	1.80	10.38	3.52	2.39	19.05
標準偏差	4.26	2.66	0.91	1.82	1.82	0.99	0.78	1.09	2.43	0.51	0.74	4.72

- 注) 1. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。
 2. 外周壁骨組、特殊設備に係る評点付設がなされている、調査対象家屋があったが、サンプル数が少ないことから除外したため、各部分別の合計は100%とならない。
 また、間仕切骨組に係る評点付設がなされていない調査対象家屋が一つあった。

各部分別の標準偏差の平均に対する割合を見ると、屋根仕上げ60.56%、間仕切骨組53.85%、基礎53.74%、外部仕上げ46.19%の順に大きく、逆に小さいのは主体構造部12.51%、仮設工事14.49%、床仕上げ18.44%、内部仕上げ19.26%の順となっている。各部分別で数字の大きいもの

の原因としては、基礎のように抗打地業の有無や抗の使用本数の違い等の、資材の使用量に起因するものと、外部仕上げのように、使用資材の品質の相違によるものがある。

(2) 再建築費評点数の地域別部分別構成比

次に、地域別に各部分別の構成比を示すと表7のとおりである。

表7 再建築費評点数の地域別部分別構成比

(単位：%)

区 分	主体構造部	基礎	間仕切骨組	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具	仮設工事	その他の工事	建築設備
北海道	32.23	3.43	1.49	5.75	10.30	5.44	2.81	1.13	10.64	3.22	6.42	17.13
東 北	30.75	4.46	1.25	4.75	7.86	5.22	3.20	1.52	11.92	3.14	2.08	23.85
北関東	32.56	8.00	1.55	5.32	8.71	4.63	3.38	1.77	10.16	3.13	1.94	18.85
南関東	29.90	5.37	2.72	4.88	9.91	5.28	3.38	3.02	11.35	3.36	2.08	18.02
北 陸	36.57	4.14	1.36	5.34	8.65	4.85	3.85	2.73	8.80	3.11	2.21	18.28
中 部	34.89	4.57	1.83	3.23	8.08	4.93	3.05	1.10	9.48	3.38	2.32	23.13
中 京	39.14	5.58	1.35	3.21	8.92	4.93	3.08	1.61	9.44	3.50	2.51	16.74
北近畿	32.66	4.30	2.62	2.67	10.75	6.66	3.38	1.09	10.58	3.64	2.45	18.81
南近畿	32.57	5.44	1.69	3.16	9.40	5.78	3.57	1.38	9.80	3.83	2.82	20.29
山 陰	35.32	5.68	0.06	4.16	8.28	5.73	3.25	2.85	9.21	3.26	1.88	20.10
山 陽	35.20	3.30	1.14	4.19	9.74	5.25	3.30	2.01	8.04	3.52	2.18	21.56
四 国	31.92	6.07	2.62	4.06	8.81	4.77	3.26	2.21	11.43	3.72	2.30	15.43
北九州	35.39	4.63	1.32	3.65	10.90	5.08	2.43	1.28	10.11	3.79	2.26	19.16
南九州	35.28	4.75	1.75	2.39	11.13	6.33	2.74	1.29	11.80	4.31	2.67	15.57

- 註 1. 各数値は、小数点以下第3位を四捨五入。
 2. 表6と同様に、外周壁骨組と特殊設備を除いているため、各部分別の合計は必ずしも100%にならない。

表7から、偏差の大きい地域(標準偏差区間外の地域)を各部分別に見ていくと、次のとおりである。

① 主体構造部

中京地域以外は標準偏差区間にあり、表6の分析結果を裏付けている。

② 基礎

北関東地域以外は標準偏差区間内にある。この結果が表6の分析結果と相違しているのは、同一地域内で評点数の高い調査対象家屋と低い調査対象家屋とが混在しているためである。

③ 間仕切骨組

北近畿、四国地域が標準偏差区間より上にあり、山陰地域は下にある。

④ 外部仕上げ

全地域が標準偏差区間内にある。表6の分析結果と相違しているのは、基礎と同様の理由で同一地域内に評点数の高いものと小さいものが混在しているためである。

⑤ 内部仕上げ

全地域が標準偏差区間内にあり、表6の分析結果を裏付けている。

⑥ 床仕上げ

北近畿地域が標準偏差区間より上にある以外は、標準偏差区間内にある。

⑦ 天井仕上げ

北九州地域が標準偏差区間より下にあるがその差は僅かである。

⑧ 屋根仕上げ

南関東地域が標準偏差区間より上にある。

⑨ 建具

全地域が標準偏差区間内にある。

⑩ 仮設工事

南九州地域が標準偏差区間より上にある。

⑪ その他の工事

北海道地域の数値が非常に大きい他は、標準偏差区間内にある。

⑫ 建築設備

東北地域が僅かに標準偏差区間より上にある。

建築設備を電気設備、衛生設備、空調設備、防災設備、運搬設備の五種類に区分し、再建築費評点数に占める割合を示すと表8のとおりである。

表8 建築設備の再建築費評点数に占める割合の状況 (%)

データ数(個)	建築設備	電気設備	衛生設備	空調設備	防災設備	運搬設備
		47	47	47	45	23
平均	19.05	4.85	12.40	0.56	0.41	0.83
最高	32.59	7.34	25.23	2.63	1.95	7.75
最低	8.95	2.65	2.72	0.01	0.05	1.84
標準偏差	4.72	0.96	3.78	0.49	0.55	1.71

表8を見ると、電気設備、衛生設備はすべての調査対象家屋に施工されており、空調設備（換気設備）もほとんど施工されている。これは、住宅において通常施工される設備がこの三種類の設備の内訳に含まれているからである。これに対して、防災設備、運搬設備は一個の建物に備えられているか否かという性格の設備であり、その有無が別れている。これらの設備は法令によって一定規模以上になると設置が義務付けられているものもあり、大規模、高層のものに施工されている例が多い。

4 主要資材に係る価格の状況調査

昭和62年度の調査においては、調査対象都市における生コンクリート（呼び強度180kg/cm²・スランプ18cm及び21cm、呼び強度210kg/cm²・スランプ18cm及び21cm）の1m³当たり価格を昭和61年度に引き続き調査した。また、鉄筋については、昭和61年度と同じ鉄筋コンクリート用異形棒鋼（JIS規格SD30）の径19～25mmの他に10mm、13mmの1t当たり価格について調査した。

(1) 生コンクリート

昭和62年度において調査した生コンクリートの価格の状況を示すと表9のとおりである。

表9 生コンクリート価格の状況

(単位：円/m³)

区 分		最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差	デ ー タ 数
180	18 cm	15,800	10,300	12,716	1,330	30
	21 cm	15,300	10,300	12,714	1,336	23
210	18 cm	15,450	9,800	12,773	1,392	39
	21 cm	15,750	9,800	12,903	1,414	28

表9を見ると呼び強度180kg/cm²、スランプ18cmの平均が21cmより高くなっている。これは18cmの価格しかデータがない調査対象都市の価格が21cmの平均よりおおむね高かったためであり、両方のデータが揃っている都市で18cmの方の価格が高いものはなかった。また、複数のデータが揃っている都市においては呼び強度180kg/cm²、スランプ18cm、21cm、呼び強度210kg/cm²、スランプ18cm、21cmの順に大きくなっているか、あるいは等しいところだけであり、おおむねこの順に価格が高くなっていると言える。

また生コンクリートの地域差を見るために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表10のとおりとなる。

表 10 生コンクリート価格の地域差

(円/㎡)

区分 地域	180kg/cm ³		210kg/cm ³	
	18cm	21cm	18cm	21cm
(1) 北海道	—	—	15,150	—
(6) 東北	(3) 13,100	(3) 13,850	(5) 13,740	(5) 14,160
(3) 北関東	(1) 10,500	(1) 10,700	10,666	11,066
(4) 南関東	(1) 10,300	(1) 10,300	(3) 11,033	(1) 10,600
(4) 北陸	(2) 11,650	(2) 11,650	12,487	12,512
(3) 中部	(2) 13,400	(1) 11,000	(1) 11,300	(1) 11,300
(3) 中京	(2) 13,350	(1) 14,200	13,300	(1) 14,500
(3) 北近畿	(2) 13,000	(1) 12,700	13,800	(1) 13,100
(3) 南近畿	12,623	12,753	12,903	(2) 12,670
(2) 山陰	14,015	14,170	14,455	14,620
(3) 山陽	13,100	(1) 12,950	(1) 13,250	(1) 13,550
(4) 四国	12,797	13,180	(3) 12,936	(3) 13,250
(3) 北九州	(1) 11,000	(1) 11,300	12,150	(2) 11,975
(5) 南九州	(4) 12,350	(2) 12,550	(4) 12,625	(2) 12,950

(注) 左肩の数字は各地域内の都道府県数及び平均を求めるために用いたデータ数、記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。
また、平均値は小数点以下を切り捨てた。

表 10 を見て、データ数の少ない区分を考慮に入れると、北関東が安く、東北、山陰が高いと言える。また表 9 と同様に各区分の中では呼び強度 180kg/cm³、スランブ 18cm、21cm、呼び強度 210kg/cm³、スランブ 18cm、21cm の順に高くなっている。地域による価格差も、最高 4,000 円近くあり、相対的に関東、北陸、中部の比較的東京に近い地域は安く、東北、西日本地方が高くなっている。

(2) 鉄 筋

昭和 62 年度において調査した鉄筋の価格の状況を示すと表 11 のとおりである。

表 11 鉄筋価格の状況

(単位：円/t)

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差	デ ー タ 数
10mm	70,000	37,000	52,438	8,441	46
13mm	69,000	36,000	51,812	8,563	47
19~25mm	68,000	35,000	50,930	8,610	45

表 11 を見ると、鉄筋の価格はかなりバラツキがあるように見えるが、各区分の最高、最低、平均は600~1,000点ずつ安くなっており、個々のデータを見ても鉄筋は10mm、13mm、19~25mmの順に安くなっていると言える。

また、鉄筋価格の地域差を見るために、全国を14地域に区分して、各地域の平均を求めると表12のとおりとなる。

表 12 鉄筋価格の差

(円/t)

地 域 区 分	10mm	13mm	19~25mm
(1) 北 海 道	59,000	58,000	57,000
(6) 東 北	48,833	47,916	47,583
(3) 北 関 東	49,666	49,333	49,166
(4) 南 関 東	50,437	49,687	50,312
(4) 北 陸	48,750	47,875	46,875
(3) 中 部	(2) 46,200	51,309	(2) 45,700
(3) 中 京	60,166	59,166	58,333
(3) 北 近 畿	56,833	56,166	(2) 56,500
(3) 南 近 畿	49,000	47,500	46,500
(2) 山 陰	56,500	56,000	56,100
(3) 山 陽	58,000	57,000	56,000
(4) 四 国	48,875	47,625	46,625
(3) 北 九 州	50,833	49,833	48,833
(5) 南 九 州	57,800	57,200	56,200

(注) 左肩の数字は各地域内の都道府県及び平均を求めるために用いたデータ数。記入がないものは、その地域に属する都道府県のデータの平均である。また、平均値は小数点以下を切捨てた。

表12を見ると、北海道、中京、南九州が高く、東北、北陸、山陰、四国が安い。また表11と同様に、10mm、1.3mm、19～25mmの順に安くなっている地域が大多数であるが、南関東、山陰で逆転現象がおきている。地域による価格差は10,000円以上あり、おおむね東日本が安く、西日本が高いと言える。

5 施工会社及び販売形態の状況調査

(1) 施工会社の状況

調査対象家屋の施工会社を免許登録別に区分すると表13のとおりである。

表13 施工会社の状況

区分	建設大臣登録	知事登録
社数	33	12

(注) 不明が2社ある。

今回の調査における建設大臣登録と知事登録の会社数の割合は73:27で、建設大臣登録の方が多かった。

また、本年度の調査対象家屋を住戸数あるいは工事価額の各段階区分別に施工会社の状況をみると表14のとおりである。

表14 住戸数、工事価額別の施工会社の状況
(住戸数別) (工事価額別)

住戸数 (戸)	棟数	施工会社の状況	
		建設大臣登録	知事登録
1～10	—	—	—
11～20	10	7	3
21～30	24	17	7
31～40	9	7	2
41～50	1	1	—
51～	1	1	—

工事価額 (億円)	棟数	施工会社の状況	
		建設大臣登録	知事登録
～1	2	1	1
1～2	20	13	7
2～3	15	11	4
3～4	7	7	—
4～5	—	—	—
5～	1	1	—

表16を見ると、規模の大きいものあるいは工事価額の高いものは、建設大臣登録の会社が施工している場合が多いことがわかる。

(2) 販売形態の状況

調査対象家屋の販売形態を分譲か賃貸か、民間会社か、公団・公社かに区分すると表15のとおりである。

表15 販売形態の状況

区 分	分 譲		賃 貸	
	民間会社	公団・公社	民間会社	公団・公社
棟 数	5	—	38	4

表15を見ると、民間会社の賃貸住宅が調査対象家屋の大半を占めていることがわかる。

Ⅲ. 調査結果 —昭和60年度へ62年度をまとめて—

1. 目的

I-1で述べたとおり、本調査は昭和60年度から実施してきたものであるが、今年度の調査をもって昭和60年度基準で評価された家屋の調査が終了するため、3ケ年の調査の比較を行うこととする。

2. 調査対象家屋の年度別比較

各年度の調査対象家屋の階数、住戸数、延べ床面積、一戸当たり延べ床面積のデータを比較すると表16のとおりとなる。

表16 調査対象家屋の年度別状況比較

区分	階数 (階)	住戸数 (戸)	延べ床面積 (m^2)	一戸当たり延べ床面積 (m^2 /戸)
最高	60	59	3,420.27	88.60
	61	154	12,588.48	92.19
	62	98	6,856.09	85.97
	合計	154	12,588.48	92.19
最低	60	12	761.64	23.22
	61	9	551.36	39.70
	62	12	433.73	30.98
	合計	9	433.73	23.22
平均	60	28.4	1,745.65	62.54
	61	27.3	1,810.77	65.05
	62	27.5	1,732.99	62.87
	合計	27.7	1,763.14	63.49
標準 偏差	60	9.7	659.95	14.22
	61	20.8	1,731.67	11.95
	62	12.8	974.34	14.73
	合計	15.1	1,200.61	13.63

- (注) 1. 階数、住戸数は小数第2位を四捨五入。
2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積は小数第3位を四捨五入。

表16を見ると61年度の調査対象家屋の住戸数、延べ床面積の最高が突出しており、このことは、平均にはそれほど影響はないが、標準偏差には大きな影響を及ぼしている。各年度の差異を平均で見ると大きな差はなく、調査対象家屋の規模等の変化はなかったと言える。

次に建築価額、再建築費評点数、評点水準のデータについて比較すると表17のとおりとなる。

表17 建築価額等の年度別状況比較

区分	建築価額 (円)	再建築費評点数 (点)	評点水準 (%)
最高	60	168,137	104.36
	61	218,533	89.75
	62	215,884	96.23
	合計	218,533	104.36
最低	60	92,124	51.99
	61	94,728	39.23
	62	85,648	41.55
	合計	85,648	39.23
平均	60	129,698	70.88
	61	128,691	71.87
	62	131,929	70.54
	合計	130,106	71.10
標準偏差	60	20,401	11.79
	61	24,733	11.25
	62	25,399	12.97
	合計	23,485	11.95

表17を見ると、各データに多少のバラツキは見られるものの、平均と標準偏差は3ケ年ともほとんど変動がなく、マクロ的に見れば資材量、程度の差異は少ないと考えられる。また、建築価額の平均がほぼ同じであることから、昭和60年から62年の3年間は、建築費の変動はほとんどなかったと推測できる。

表16、17を合せて考察すると、昭和60年度から62年度までの各年度のデータはマクロ的にはほぼ同様の集団であると考えられる。しかし、個々にサンプルを見た場合には、それぞれの年度や3ケ年分の全データを母集団とする集団の特性と相当かけ離れた特性を持つものが存在している。具体的には表16、17の7つの項目において1項目あるいは複数項目のデータの数値が残りのものとかけ離れている調査対象家屋であり、より具体的に述

べると、表16で考えると他のものに比べて規模が非常に大きかったり小さかったりするものであり、表17で考えると家屋の普請の程度が非常に良いか悪いもの、あるいは、建築価額と再建築費評点数の関係がアンバランスのものが該当することとなる。

そこで、3年間のデータをまとめ、考察するに当たり、このようなサンプルを排除することとする。

3. 過去3ケ年の調査結果概要

過去3ケ年の調査結果のデータのうち、この最後で述べたような調査のサンプルとして採用することが不適切と考えられるものを排除する方法として、ここではクラスター分析の手法を用いて行うこととした。この結果を表16、17と同様に示す。表18のとおりである。表18を見ると、各項目とも偏差要因となるサンプルが取除かれていることから、平均値は特に大きくは、動いていないが、標準偏差が小さくなっている。

また、再建築費評点数と建築価額の関係を散布図で示すと図12のとおりである。この場合、両者の回帰式を $Y = ax + b$ で表すと $a = 0.186635$ 、 $b = 65,074.4$ となり、相関係数は 0.394 であり、両者は弱い正の相関関係にある。このように調査対象家屋を限定して分析を行った場合でも両者の相関関係が強くない理由としては、調査対象家屋の工事費が家屋評価対象外の部分をも含めて見積りされており、その総額から値引を行ったり、各個の工事内容ごとに値引きが行われたりして最終工事価格が算出されており、家屋評価対象部分の工事価格というものが正確に把握できず、個体差があるため、同価格で建築した家屋でも再建築費評点数は必ずしも同じにならないことや、その逆に建築価額が異っても再建築費評点数が同じになる場合があることが原因だと考えられる。

次に、都道府県別に3ケ年のデータを平均したものが表19であり、全国を14地域に区分して示したものが表20である。

表19及び表20は調査の対象として不適切なサンプルを除いた結果であるが、それでも相当の偏差が見られる。各地域ごとに特徴を見て行くと、次のようになる。

表 1 8 調査対象家屋の状況 (3 ケ年平均)

区 分	最 高	最 低	平 均	標 準 偏 差
階 数 (階)	7	3	4.2	0.8
戸 数 (戸)	53	9	26.0	8.1
延 べ 床 面 積 (m^2)	4,148.62	551.36	1,669.43	641.2
一戸当たり延べ床面積 ($m^2/戸$)	92.19	33.98	64.13	11.93
建 築 価 額 (円)	169,946	91,430	129,389	19,340
再 建 築 費 評 点 数 (点)	117,412	67,799	89,223	9,155
評 点 水 準 (%)	95.71	50.15	70.12	10.22

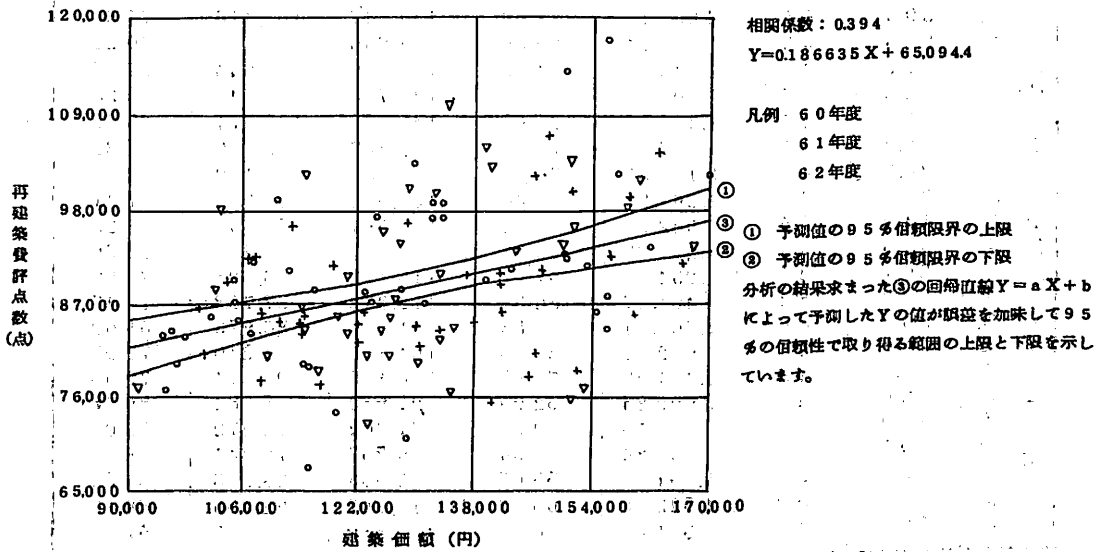


図 1 2 再建築費評点数と建築価額の散布図

表19 都道府県別調査対象家屋の状況(3ヶ年平均)

調査都府	戸数(戸)	階数(階)	延べ床面積(m ²)	一戸当たり延べ床面積(m ² /戸)	建築価額(円)	再建築費評点数(点)	評点水準(%)
札幌	41.5	5.0	3,694.53	88.73	106,661	98,791	92.73
仙台	18.0	3.5	1,471.68	81.00	130,579	99,865	76.49
盛岡	22.5	4.0	1,387.28	61.86	141,867	105,835	74.52
仙台	29.7	4.0	1,122.27	37.78	147,285	98,698	67.16
秋田	20.5	3.5	1,306.10	62.31	126,592	95,913	76.49
山形	19.5	3.0	1,031.24	57.12	153,671	81,918	53.26
福島	26.0	4.0	1,534.52	60.10	116,458	83,481	71.64
水戸	30.3	4.0	1,771.42	58.49	138,551	91,813	66.59
宇都宮	18.3	4.0	1,177.86	64.78	128,143	100,233	79.90
前橋	28.0	4.7	1,764.18	62.91	117,332	83,296	72.56
浦和	24.0	4.0	1,689.25	67.86	164,822	93,914	56.88
千葉	20.7	4.3	1,416.60	67.61	142,968	90,542	64.75
特別区	27.0	4.0	1,469.07	54.74	152,869	97,849	63.99
横濱	37.0	4.0	2,220.30	60.56	159,720	100,549	62.95
新潟	24.0	4.0	1,783.38	74.31	141,616	93,936	66.99
富山	25.3	4.0	1,884.68	75.48	114,925	86,970	77.27
金沢	28.0	5.0	1,618.73	60.27	136,919	99,744	72.95
福井	13.0	5.0	1,018.55	78.35	134,504	110,320	82.02
甲府	25.3	3.7	1,398.62	54.96	153,566	96,001	62.56
長野	24.0	4.3	1,465.11	60.84	149,898	94,969	64.05
岐阜	22.7	4.0	1,377.36	60.43	108,350	82,567	77.76
静岡	23.3	4.3	1,729.58	73.64	114,820	85,462	74.42
名古屋	30.0	4.3	1,911.65	63.72	111,643	87,772	79.75
古津	21.7	4.7	1,313.80	57.63	120,944	79,767	65.88
大津	24.0	5.0	1,600.50	66.69	135,911	84,669	62.26
京都	34.0	4.0	2,190.07	63.95	119,567	94,025	79.07
大阪	39.0	6.5	2,803.14	72.60	134,547	104,416	77.68
神戸	27.3	4.0	1,906.74	69.85	118,936	83,441	70.22
奈良	37.0	4.5	2,445.21	64.72	126,350	84,644	67.25
和歌山	32.3	4.7	2,090.90	65.31	123,786	85,746	69.28
鳥取	22.5	4.5	1,475.65	68.05	148,662	102,371	68.79
松江	20.0	3.7	1,457.98	71.98	135,347	83,490	61.89
岡山	28.3	4.7	2,131.59	76.50	140,335	87,190	62.29
広島	23.0	4.0	1,367.94	59.46	136,008	82,961	61.41
山口	14.0	3.5	982.50	69.34	152,581	78,192	51.25
徳島	31.0	4.5	1,657.28	53.07	103,751	82,295	79.36
高松	20.7	3.7	1,254.05	61.27	115,729	88,925	76.90
松山	26.0	4.0	1,461.47	56.57	112,043	87,753	78.47
高知	26.3	4.0	1,761.31	64.83	141,623	86,978	61.69
福岡	31.0	4.3	1,982.31	65.80	104,370	81,210	77.93
佐賀	19.5	4.5	1,441.68	71.95	120,196	94,714	79.55
長崎	33.0	4.0	2,090.84	62.99	101,930	88,184	86.56
熊本	32.0	4.5	2,244.13	70.27	131,802	73,872	56.03
大分	29.0	5.0	1,987.84	68.54	119,237	70,341	58.99
宮崎	30.0	5.0	1,651.85	55.06	100,583	86,043	85.55
鹿児島	25.0	5.0	1,522.95	60.92	118,547	82,033	69.19
那覇	18.3	4.0	891.44	50.42	142,530	81,155	57.32

- (註) 1. 階数、住戸数は小数第2位を四捨五入。
 2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積、評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。
 3. 建築価額、再建築費評点数は小数点以下切捨て。
 4. 再建築費評点数は、昭和60年基準によるものであり、再建築費評点補正率を乗じた後の数値である。
 5. 山形には米沢市を含み、福岡には北九州市を含む。

表 2 0. 地域別調査対象家屋の状況（3ヶ年平均）

項目 地域	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (㎡)	一戸当たり 延べ床面積 (㎡/戸)	建築価額 (円)	再建築費評 点数(点)	評点水準 (%)
北海道	41.5	5.0	3,694.53	88.73	106,661	98,791	92.73
東北	23.4	3.7	1,311.64	58.45	135,475	93,828	69.85
北関東	25.6	4.2	1,571.15	62.06	128,009	91,780	73.02
南関東	26.4	4.1	1,667.45	63.24	153,747	95,139	62.43
北陸	24.5	4.4	1,687.89	70.86	131,488	95,227	73.37
中部	24.0	4.0	1,413.70	58.75	137,271	91,179	68.13
中京	25.0	4.4	1,651.68	65.00	115,802	84,833	73.35
北近畿	32.0	4.4	2,094.52	64.95	126,174	88,672	70.89
南近畿	32.1	4.9	2,199.90	68.84	124,657	89,549	71.73
山陰	21.0	4.0	1,465.05	70.41	140,673	91,042	64.65
山陽	22.8	4.1	1,557.95	68.32	141,774	83,354	59.20
四国	25.6	4.0	1,522.28	59.47	119,608	86,869	73.63
北九州	28.3	4.3	1,858.86	66.76	108,194	87,061	80.86
南九州	26.1	4.6	1,589.81	60.08	124,357	78,913	64.68

- (注) 1. 階数、住戸数は小数第2位を四捨五入。
 2. 延べ床面積、一戸当たり延べ床面積、評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。
 3. 再建築費評点数は、昭和60年基準によるものであり、再建築費評点補正率を乗じた後の数値である。

北海道地域

他の都市に比べ規模がかなり大きくなっており、建築価額が低いのに対し再建築費評点数は高く、評点水準が非常に高くなっている。このため、クラスター分析を行うと北海道地域のサンプルは他の都市のものとはっきり区別された。この結果が北海道地域の特性によるものであるかどうかは、サンプル数が少ないため調査対象家屋の個別要因の可能性も高く、結論を出すことはできない。

東北地域

東北地域は規模が小さく、建築価額、再建築費評点数が高くなっている。これは、一般的にはある規模までは、規模が大きくなるにつれて1.0㎡当たりの建築価額、再建築費評点数が低くなることを考えると、特に地域差はないと考えられる。

北関東地域

再建築費評点数、評点水準を除く全項目が全国平均をやや下回っているものの、大きな差はなく、特に地域的な差異はないと考えられる。

南関東地域

規模については全国平均と大きな差はないものの、建築価額がかなり高く、再建築費評点数も高くなっている。但し、建築価額が非常に高いので評点水準はかなり低くなっている。程度差は別として建築費は他地域よりも高いと推測できる。

北陸地域

戸数、階数、延べ床面積は全国平均と大差なく、一戸当たり延べ床面積がやや大きい。建築価額、再建築費評点数、評点水準もやや高い数字を示している。しかし、建築費に差があると認められる程の差異は認められない。

中部地域

延べ床面積、一戸当たり延べ床面積が全国平均を下回っており、やや小さめの規模である。建築価額、再建築費評点数は高いが、評点水準がやや低い。建築費に差があると言える程の差異は認められない。

中京地域

規模はほぼ全国平均であるが、建築価額、再建築費評点数はともに平均を下回っており、評点水準がわずかに高い。特に地域的な差異はないと考えられる。

北近畿地域

規模が大きく建築価額、再建築価額は平均をやや下回っており、評点水準が

わずかに高い。特に地域的な差異はないと考えられる。

南近畿地域

北近畿地域とほぼ同様の傾向を示しており、特に地域的な差異はないと考えられる。

山陰地域

規模が他地域に比べ小さく、一戸当たりの延べ床面積がやや大きい。これを反映して建築価額は高くなっているものの、再建築費評点数はわずかに高いだけであり、評点水準は低い。他地域に比べ建築費はやや高いと推測できる。

山陽地域

山陰地域とほぼ同様の傾向を示しているが、再建築費評点数が全国平均を下回っており、評点水準が14地域中最低である。他地域に比べ建築費は高いと考えられる。

四国地域

規模がやや小さめであるが、建築価額はかなり低くなっており、再建築費評点数もわずかに低くなっている。他地域に比べ、建築費はやや低いと考えられる。

北九州地域

規模に関しては延べ床面積が大きいだけであるが、建築価額がかなり低く、再建築費評点数もやや低いが、評点水準は高くなっている。建築価額は他地域に比べ低いと考えられる。

南九州地域

規模については戸数がやや多く、一戸当たり延べ床面積が小さくなっている。建築価額がやや低くなっているのに対して、再建築費評点数が14地域中最低であり、評点水準は低くなっている。建築費は絶対値としては低いが、再建築費評点数が低いことから建物の程度が他地域のものより悪いと考えた場合、割高な建築費であると推測できる。

以上のように各地域ごとに分析を行ってきた訳であるが、調査対象家屋が各都道府県毎に1年に1棟、3ヶ年で141棟であったが、個々のサンプルを見た場合、必ずしも調査対象として規模等が適切でないものもあったため3ヶ年を通じて行った分析に用いたものは119個であった。また表21は建築統計年報から採った地域別1.0㎡当たり工事費単価等である。本調査のデータとこのデータを付き合せ

てみると、傾向が似ている地域が北海道、北関東、南関東、四国、北九州の5地域である。逆の傾向を示している地域が北近畿、山陰、山陽の3地域である。

したがって、3ヶ年毎のデータを分析してみた場合、南関東すなわち東京、神奈川、千葉、埼玉の4都県の建築費が他地域に比べて高いと言うことはできる。但し、表20の分析で見ると、この地域は再建築費評点数も高く、他地域に比べて家屋の程度が良いと考えられ、この点を考慮すると同程度の家屋では建築費の差は縮まると考えられる。このことは、他の地域でもほぼ同様の傾向である。また、本節の冒頭で行ったクラスター分析の結果でも、地域差を表すような集団は特に見られず、調査サンプルとして不適切と考えられるいくつかの集団と他の大集団とに区分され、大集団の中で特に地域差が見られるような数個の集団に区分されるようなものは特に見られなかった。

表21 地域別RC造居住専用建物の工事費予定額等

地域	棟数	床面積合計 (m^2)	工事費合計 (万円)	1.0 m^2 当たり 工事費単価 (円/ m^2)	一棟当たり 延べ床面積 (m^2 /棟)
北海道	1,155	876,021	10,961,871	125,133	758.46
東北	127	70,669	904,877	124,385	589.98
北関東	279	151,359	1,931,977	127,837	585.26
南関東	2,646	1,693,372	27,854,711	157,495	729.90
北陸	180	83,494	1,093,957	130,613	477.52
中部	296	135,259	1,714,050	126,700	538.73
中京	1,258	637,880	7,933,743	126,053	462.71
北近畿	457	242,999	3,164,771	129,196	530.52
南近畿	1,316	923,336	12,329,407	134,245	591.25
山陰	78	37,144	469,384	126,035	459.71
山陽	671	230,607	2,966,259	125,996	356.03
四国	365	152,579	1,808,041	120,050	511.42
北九州	634	358,740	4,096,485	115,844	530.07
南九州	1,381	305,189	3,547,394	111,655	367.93

IV 計数資料等

1 共同住宅（RC造）に係る調査対象家屋の状況

調査都市	戸数 (戸)	階数 (階)	延べ床面積 (㎡)	一戸当たり 延べ床面積 (㎡/戸)	建築価額 (円)	再建築費評 点数(点)	評点水準 (%)
札幌	38	5	3,240.44	85.27	102,692	98,288	95.71
仙台	12	3	944.67	78.72	129,079	100,775	78.07
盛岡	26	3	1,573.67	60.53	127,813	94,259	73.75
仙台	30	5	1,096.31	36.54	140,397	103,326	73.60
秋田	27	3	973.59	36.06	142,708	118,392	82.96
米沢	24	3	930.27	38.76	151,276	75,861	50.15
福島	24	4	1,378.05	57.42	116,499	79,124	67.92
水戸	31	4	1,841.87	59.42	151,476	96,440	63.67
宇都宮	24	4	1,482.00	61.75	114,485	102,381	89.43
前橋	33	6	2,152.02	65.21	135,145	84,223	62.32
浦和	23	4	1,560.64	67.85	181,810	91,037	50.07
千葉	23	4	1,977.20	85.97	167,802	93,949	55.99
特別区	98	4	6,856.09	69.96	144,067	108,776	75.50
横濱	32	4	2,068.50	64.64	160,328	101,623	63.38
新瀉	24	4	1,656.90	69.04	158,730	98,412	62.00
富山	18	4	1,438.59	79.92	101,999	88,770	87.03
金沢	33	6	1,155.16	35.00	132,637	100,174	75.52
福井	13	5	1,018.55	78.35	134,504	110,320	82.02
甲府	24	4	1,328.02	55.33	151,138	103,930	68.76
長野	30	7	1,872.92	62.43	149,830	94,226	62.89
岐阜	24	4	1,585.68	66.07	91,430	77,414	84.67
静岡	27	3	2,077.47	76.94	114,665	84,200	73.43
名古屋	30	5	1,124.28	37.48	133,418	90,692	67.98
津	20	4	785.88	39.29	127,107	87,643	68.95
大津	24	4	1,622.40	67.60	130,339	80,061	61.43
京都	39	4	2,670.17	68.47	125,459	95,619	76.22
大阪	30	7	2,272.81	75.76	139,474	105,388	75.56
神戸	26	4	2,005.02	77.12	120,342	83,587	69.46
奈良	43	5	3,145.74	73.16	119,208	85,608	71.81
和歌山	24	4	1,346.67	56.11	125,049	83,956	67.14
鳥取	12	3	921.51	76.79	215,884	89,704	41.55
松江	18	4	1,315.46	73.08	126,353	85,409	67.60
岡山	20	4	1,563.64	78.18	143,575	93,439	65.08
広島	22	4	1,316.71	59.85	123,097	80,963	65.77
山口	16	4	1,203.36	75.21	153,029	77,293	50.51
徳島	30	6	2,243.02	74.77	101,933	98,087	96.23
高松	15	4	981.30	65.42	120,508	90,303	74.94
松山	31	4	1,716.55	55.37	114,172	86,616	75.86
高知	22	4	1,456.24	66.19	133,090	82,793	62.21
高松	30	4	2,016.30	67.21	109,409	80,970	74.01
福岡	14	3	433.73	30.98	184,446	89,114	48.31
佐賀	34	6	2,075.57	61.05	97,781	88,740	90.75
長崎	40	5	2,787.86	69.70	134,811	76,634	56.85
熊本	30	5	2,060.40	68.68	123,422	72,883	59.05
大分	30	4	1,296.00	43.20	85,648	79,063	92.31
宮崎	30	5	2,025.75	67.53	86,338	80,352	93.07
那覇	24	4	855.36	35.64	126,253	80,947	64.11

(注) 1. 一戸当たり延べ床面積、評点水準は小数点以下第3位を四捨五入。
 2. 再建築費評点数は、昭和60年基準によるものであり、再建築費評点補正率を乗じた後の数値である。

2 共同住宅（RC造）に係る部分別構成比の状況

調査都市	主体構造部	基礎	間仕切り壁	外壁仕上げ	内壁仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	器具	建築設備	仮設工事	その他の工事	
札幌	32.23	3.43	1.49	5.75	10.30	5.44	2.81	1.13	10.64	17.13	3.22	6.42	
	27.24	4.09	1.30	6.03	7.76	4.81	3.89	1.29	21.42	17.21	3.14	1.82	
	30.99	6.13	0.96	0.97	8.16	6.71	3.04	3.04	12.40	23.63	3.02	2.52	
	28.70	4.44	2.01	6.09	5.82	4.32	2.01	2.01	10.95	29.87	3.07	1.77	
	30.09	6.52	0.62	7.52	5.89	4.35	2.48	1.77	8.70	27.01	3.21	1.85	
	36.45	1.98	1.92	3.86	9.89	4.62	5.27	1.56	7.82	21.88	2.34	2.41	
	33.17	2.25	0.81	2.56	11.28	7.06	3.19	2.20	9.27	16.88	4.00	2.31	
	29.56	9.22	2.13	3.88	9.83	3.82	2.98	0.97	10.59	14.83	3.28	1.90	
	31.98	9.67	1.34	6.19	8.84	5.00	4.36	2.72	10.25	21.81	2.47	1.79	
	36.72	4.57	1.15	5.91	7.28	4.37	2.64	1.52	9.55	20.35	3.76	2.17	
仙台	35.95	3.03	2.26	4.61	10.19	4.97	3.65	2.39	11.87	15.58	3.48	2.01	
	26.94	5.22	3.47	4.07	9.87	4.38	2.64	2.41	11.18	23.44	4.05	2.34	
	27.11	5.46	1.90	4.66	8.75	5.55	3.56	5.56	13.35	16.41	2.91	2.19	
	30.22	7.49	3.32	6.12	10.94	6.10	3.64	1.42	8.91	16.93	3.12	1.80	
	31.91	9.19	1.14	8.22	10.23	7.78	4.30	1.37	7.78	14.74	2.57	2.79	
	40.73	2.05	0.49	4.21	8.63	5.43	4.75	3.34	8.72	16.01	3.57	2.06	
	37.86	1.20	2.15	2.91	7.97	4.46	2.92	0.89	9.78	24.40	3.16	1.83	
	36.19	3.98	1.52	5.89	7.87	3.93	3.58	5.14	8.89	17.71	3.16	2.16	
	33.28	3.14	2.45	5.20	9.44	4.36	2.11	1.62	9.56	23.44	3.05	1.76	
	33.05	1.97	1.60	2.64	6.36	4.41	3.58	2.11	7.98	31.04	3.70	2.91	
古川	39.28	9.66	1.28	1.31	8.34	5.83	3.67	0.85	11.18	13.09	3.44	2.36	
	37.12	5.38	1.47	2.92	10.78	5.93	2.87	2.29	9.94	15.84	3.39	2.39	
	36.14	4.86	2.54	3.88	8.97	4.26	3.10	1.59	8.85	18.29	3.49	3.03	
	44.18	6.51	-	2.78	7.08	4.95	3.25	0.99	8.55	16.01	3.61	2.29	
	36.24	3.70	3.39	0.98	11.17	5.44	3.92	3.25	10.59	17.25	3.96	2.29	
	34.36	4.31	1.10	4.55	8.79	6.16	2.97	2.97	10.12	19.21	3.31	2.87	
	30.23	8.85	1.22	2.44	7.45	6.66	3.15	3.15	9.04	23.65	3.91	3.47	
	36.06	1.42	1.77	3.95	10.61	7.02	4.31	3.15	1.83	17.43	3.79	2.83	
	27.42	4.86	3.60	2.15	12.54	8.35	3.32	3.32	1.01	11.09	19.81	3.70	2.14
	32.02	3.17	2.19	3.29	10.64	10.64	5.30	3.38	1.82	11.35	3.77	2.18	
吹上	34.62	7.64	0.08	6.24	8.01	6.14	3.23	2.65	8.52	17.15	3.53	2.04	
	36.06	3.62	0.80	1.97	8.56	5.29	3.26	3.06	9.37	23.19	2.97	1.71	
	24.99	5.08	0.80	5.28	8.32	4.31	3.48	1.84	6.33	32.59	3.73	1.96	
	39.91	2.35	1.19	5.77	10.89	4.70	4.20	3.02	8.51	12.95	3.91	2.26	
	42.60	2.15	1.50	1.21	10.25	6.97	2.12	1.16	10.59	17.24	2.87	2.37	
	28.91	7.68	2.56	3.39	7.90	4.35	3.31	3.31	4.33	6.86	3.96	1.72	
	35.12	3.83	2.74	4.39	9.41	4.00	3.27	1.80	10.78	19.13	3.51	2.03	
	31.98	3.46	3.13	6.46	10.52	4.85	3.04	3.04	12.23	17.46	3.66	2.32	
	32.70	9.57	2.13	2.06	7.66	6.13	3.52	2.28	1.61	16.72	3.83	3.31	
	36.10	4.83	0.67	3.37	11.39	4.86	2.23	2.23	10.53	18.16	3.91	2.71	
高松	33.40	8.15	1.96	3.88	10.17	4.50	2.23	1.85	8.77	19.47	3.55	2.05	
	36.74	0.91	1.27	3.69	11.17	5.87	2.77	0.78	11.05	19.76	3.93	2.06	
	38.96	9.22	2.00	1.43	8.28	6.42	1.53	1.53	10.84	17.71	4.13	2.87	
	33.82	4.23	1.59	0.75	13.17	6.18	2.56	2.56	7.02	15.87	4.78	2.51	
	36.58	0.50	0.76	3.83	14.38	6.53	4.06	4.06	10.91	13.80	4.81	2.78	
	30.86	8.29	1.26	2.69	11.24	6.15	3.94	3.94	12.75	15.80	3.94	2.28	
	26.46	1.61	3.10	3.07	8.72	6.34	1.55	1.55	16.94	14.77	3.91	2.94	

(注) 外周壁骨組、特殊設備に係る構成比はサンプリング数が少ないため省略した。

3 共同住宅（RC造）に係る部分別評点数の状況

調査都市	主体構造部	基礎	間仕切り部	外壁仕上	内壁仕上	床仕上	天井仕上	屋根仕上	建具	仮設工事	その他の工事
札幌	29,607	3,155	1,366	5,285	9,459	4,999	2,552	1,040	9,774	2,960	5,899
	25,658	3,855	1,225	5,676	7,307	4,532	3,668	1,216	20,171	2,960	1,710
	27,296	5,402	848	855	7,185	5,907	2,682	1,292	10,920	2,664	2,223
	27,712	2,983	1,938	5,879	5,623	4,176	1,937	930	10,576	2,960	1,710
	33,252	7,218	687	8,318	6,517	4,808	2,741	1,953	5,547	3,552	2,052
	25,844	1,406	1,358	2,737	7,011	3,275	3,739	1,105	5,547	1,657	1,710
	24,532	1,665	598	1,896	8,343	5,221	2,358	1,628	6,856	2,960	1,710
	26,643	3,308	1,924	3,496	8,864	3,445	2,582	878	9,544	2,960	1,710
	30,539	2,312	1,278	5,921	8,456	5,356	4,172	2,600	9,544	2,368	1,710
	28,900	3,600	906	4,555	7,733	3,437	2,078	1,195	7,518	2,960	1,710
30,586	2,581	1,925	3,920	8,669	4,231	3,109	2,035	10,102	2,960	1,710	
23,652	4,579	3,045	3,573	8,666	3,846	2,322	2,115	9,820	2,960	2,052	
27,555	1,472	1,935	4,733	14,717	8,898	5,643	3,617	13,574	2,960	2,223	
28,659	3,173	3,150	5,809	10,392	5,796	3,456	3,456	1,349	8,458	2,960	1,710
29,353	8,455	1,050	7,562	9,409	5,286	3,951	3,951	7,159	2,368	2,565	
33,793	1,702	410	3,496	7,157	4,507	2,767	3,941	2,767	7,235	2,960	1,710
35,448	1,125	2,013	1,125	7,466	4,178	2,731	834	9,158	2,960	1,710	
37,310	4,059	1,566	6,072	8,115	4,047	3,686	5,300	9,171	3,256	2,223	
32,323	3,049	2,378	5,054	9,173	4,821	2,045	1,569	9,284	2,960	1,710	
29,104	1,739	1,409	2,327	5,603	3,887	3,151	659	7,031	3,256	2,565	
28,418	6,991	925	950	6,037	3,999	2,655	613	8,092	2,466	1,710	
29,207	4,230	1,155	2,294	8,482	4,430	2,256	1,804	7,824	2,664	1,881	
30,628	4,122	2,153	3,292	7,599	3,614	2,630	1,345	8,350	2,960	2,565	
36,189	5,336	-	2,278	5,797	4,052	2,664	812	7,000	2,960	1,710	
27,119	2,765	2,533	731	8,360	4,070	2,933	812	7,926	2,960	1,710	
30,705	3,848	979	4,068	7,853	5,507	2,653	1,028	9,046	2,960	2,565	
29,773	8,718	1,205	2,400	7,338	5,119	3,101	647	8,906	3,848	3,420	
28,172	1,110	1,383	3,084	8,288	5,481	3,355	1,431	7,176	2,960	2,052	
21,942	1,315	2,883	1,717	10,036	6,681	2,657	812	8,876	2,960	1,710	
25,132	4,054	1,718	2,581	8,347	4,156	2,850	1,430	8,905	2,960	1,710	
29,020	6,387	64	5,231	6,716	5,151	2,711	2,223	7,139	2,960	1,710	
28,787	2,888	35	1,573	6,835	4,221	2,663	2,446	7,929	2,368	1,368	
21,891	4,440	700	4,608	7,266	3,763	3,043	1,606	5,563	3,256	1,710	
30,199	1,776	890	4,368	7,237	3,555	3,176	2,288	6,441	2,960	1,710	
30,775	1,554	1,084	872	7,403	5,032	1,532	840	6,910	2,072	1,710	
25,913	3,771	2,290	3,041	7,081	3,894	2,978	658	10,914	3,552	1,539	
29,636	3,233	2,310	3,704	7,944	3,380	2,758	1,517	9,099	2,960	1,710	
25,894	2,797	2,530	5,226	8,514	3,926	2,457	743	9,897	2,960	1,881	
25,306	7,404	1,645	1,596	5,930	4,742	2,722	1,242	8,327	2,960	2,565	
27,319	3,655	504	2,549	8,620	3,676	1,724	900	7,972	2,960	2,052	
27,820	6,786	1,633	3,234	8,469	3,751	1,860	1,543	7,307	2,960	1,710	
30,471	754	1,050	3,057	9,267	4,867	2,295	650	9,167	3,256	1,710	
24,222	6,607	1,435	1,024	5,930	4,600	1,097	1,250	7,762	2,960	2,052	
26,539	2,884	1,085	513	8,969	4,212	1,742	1,614	4,781	3,256	2,052	
27,038	370	560	2,830	10,626	4,826	2,937	787	8,064	3,552	2,052	
23,177	6,225	945	2,023	8,440	4,622	2,956	597	9,577	2,960	1,710	
27,579	1,221	2,844	2,324	6,600	4,799	1,175	440	12,814	2,960	2,223	

(注) 外周壁骨組、母線壁に際する評点取上げが少なかったため省略した。

4 主体構造部及び基礎に係る施工量等の状況

調査都市	主体構造部		基礎		地盤
	鉄筋使用量 (t/m ²)	コンクリート使用量 (m ³ /m ²)	杭の使用本数 (本/m ²)	使用杭の種類	
札幌	0.074	0.64	—	—	普通
青森	0.063	0.613	0.129	鉄筋コンクリート杭	軟弱
盛岡	0.065	0.646	—	—	普通
仙台	0.075	0.66	0.055	鉄筋コンクリート杭 (PHCパイル杭)	"
秋田	0.098	0.76	0.09	" (PCパイル杭)	"
米沢	0.06	0.66	—	—	"
福島	0.059	0.59	—	—	堅牢
水戸	0.078	0.610	0.021	ベDESTAL杭	普通
宇都宮	0.089	0.703	—	—	"
前橋	0.082	0.678	0.033	鉄筋コンクリート杭	"
浦和	0.08	0.74	0.03	" (PHCパイル杭、セメントミルク工法)	"
千葉	0.06	0.58	0.07	"	"
特別区	0.076	0.662	—	—	"
横浜	0.085	0.653	0.017	ベDESTAL杭	"
新潟	0.075	0.718	0.091	鉄筋コンクリート杭	"
富山	0.083	0.851	—	—	"
金沢	0.102	0.819	—	—	"
福井	0.108	0.797	0.035	鉄筋コンクリート杭	"
甲府	0.098	0.726	0.094	" (PHCパイル杭)	"
長野	0.080	0.688	0.010	ベDESTAL杭 (アースドリル杭)	"
岐阜	0.087	0.686	0.12	鉄筋コンクリート杭	"
静岡	0.084	0.675	0.06	"	やや軟弱
名古屋	0.087	0.728	0.06	" (PC杭)	普通
津	0.12	0.77	0.12	"	"
大津	0.07	0.66	0.04	" (PC杭)	"
京都	0.087	0.715	—	—	"
大阪	0.093	0.659	0.014	ベDESTAL杭	"
神戸	0.082	0.647	—	—	"
奈良	0.060	0.52	0.007	ベDESTAL杭	"
和歌山	不明確	不明確	0.08	鉄筋コンクリート杭	軟弱
鳥取	0.090	0.717	0.068	" (PHC杭)	普通
松江	0.070	0.718	0.075	"	"
岡山	0.061	0.626	0.035	" (PHC杭)	"
広島	0.065	0.783	—	—	"
山口	0.078	0.755	—	—	軟弱
徳島	不明確	不明確	0.128	鉄筋コンクリート杭	普通
高松	0.072	0.74	0.062	" (PC杭)	"
松山	0.073	0.652	—	—	堅牢
高知	0.065	0.616	0.061	鉄筋コンクリート杭	普通
福岡	0.078	0.642	0.097	"	"
佐賀	0.1	0.83	0.092	" (PHC杭)	"
長崎	0.083	0.723	—	—	堅牢
熊本	0.06	0.60	0.14	鉄筋コンクリート杭	普通
大分	0.062	0.676	0.07	" (PC杭)	"
宮崎	0.064	0.673	—	—	"
鹿児島	0.056	0.580	0.061	鉄筋コンクリート杭	"
那覇	不明確	不明確	—	—	"
平均	0.078	0.686	0.067		
最大	0.12	0.851	0.14		
最小	0.056	0.52	0.007		
標準偏差	鹿児島	奈良	奈良		
	0.015	0.071	0.037		

(注) 1. 各数値は小数点以下第4位を四捨五入。

5 建築設備に係る部分別設備別評点数

調査都市	電気設備	衛生設備	空調設備	防災設備	運搬設備	建築設備計
札幌	4,470	10,583	439	240	—	15,732
青森	6,171	9,492	542	—	—	16,205
盛岡	3,359	16,630	330	500	—	20,819
仙台	4,875	13,936	1,323	1,224	7,482	28,840
秋田	3,657	23,198	1,950	1,080	—	29,885
米沢	3,580	10,657	303	970	—	15,510
福島	3,786	11,784	611	—	—	16,181
水戸	4,729	10,613	945	940	2,446	19,673
宇都宮	3,290	9,631	1,248	—	—	14,169
前橋	3,909	9,232	218	134	2,529	16,022
浦和	3,533	9,420	301	—	—	13,254
千代田	5,455	14,288	838	—	—	20,581
特別区	6,222	9,964	494	—	—	16,680
横濱	4,954	10,430	370	324	—	16,078
新宮	3,767	9,557	231	—	—	13,555
富山	4,015	8,914	356	—	—	13,285
金沢	3,599	13,288	36	1,223	4,697	22,843
福井	5,398	7,297	13	1,050	4,500	18,258
甲府	6,517	15,132	256	860	—	22,765
長野	6,463	14,846	2,315	1,008	2,699	27,331
岐阜	3,719	4,735	520	500	—	9,474
静岡	3,813	8,012	640	—	—	12,465
名古屋	3,376	11,756	369	—	—	15,501
古津	3,366	9,319	427	—	—	13,112
大津	4,583	7,837	485	—	—	12,905
大京	4,876	11,470	334	490	—	17,170
大神	4,153	15,189	222	1,918	1,814	23,296
和歌山	4,492	8,941	184	—	—	13,617
奈良	3,877	9,484	—	1,010	1,476	15,847
鳥取	3,502	10,777	552	—	—	14,831
岡山	3,334	9,641	371	1,030	—	14,376
広島	4,061	14,306	146	—	—	18,513
岡山	3,294	22,034	—	—	3,129	28,457
広島	2,811	6,049	936	—	—	9,796
山形	3,289	8,798	195	171	—	12,453
徳島	2,427	2,489	285	720	2,281	8,202
高松	4,437	10,330	448	930	—	16,145
高松	3,132	9,262	841	900	—	14,135
高松	3,663	9,126	149	—	—	12,938
福岡	3,727	9,550	427	38	—	13,742
佐賀	3,615	12,208	389	—	446	16,212
長崎	3,617	10,000	328	—	—	16,391
熊本	4,437	7,969	199	77	—	12,682
大分	3,973	6,534	303	—	—	10,810
宮崎	3,226	6,744	229	—	—	10,199
鹿児島	3,726	7,984	154	—	—	11,864
那覇	4,041	6,634	498	—	—	11,173

調査都市	動力配線 設 備	電灯コン セント 配線設備	蛍光灯 用器具	白熱灯 用器具	電 話 配 線 設 備	呼 信 設 備	出 号 備	インター ホ 配線設備	テレビヨ ン 共 同 視 聴 設 備	その他 の設備	電気設備 計
札幌	101	2,961	775		135			174	324		4,470
青森	1,472	2,279	1,300		720			220	180		6,171
盛岡	239	1,927	179	330				344	340		3,359
仙台	713	2,726	506	120	630				180		4,875
秋田	455	1,833	434	719					216		3,657
米沢	—	2,044	475	145	315			112	180	309	3,580
福島	—	2,627	299	100	342	102			316		3,786
水戸	199	2,279	1,000	169	630			236	216		4,729
宇都宮	—	2,279	200		234			361	216		3,290
前橋	160	2,840	584	145					180		3,909
浦和	—	2,279	692	382					180		3,533
千葉	1,240	2,350	837	674				174	180		5,455
特別区	48	2,726	1,796	174	900			291	168	119	6,222
横濱	102	2,279	346	878	900			269	180		4,954
新潟	92	2,279	990	104		86			216		3,767
富山		2,279	1,250		270				216		4,015
金沢		2,514	511	131		227			216		3,599
福井		2,726	1,575		900			17	180		5,398
甲府	1,098	2,279	900	1,160	900				180		6,517
長野	364	2,726	1,775	551				695	216	136	6,463
岐阜		2,279	528	41	630	90			151		3,719
静岡	50	2,444	697	306	100				216		3,813
名古屋	202	1,833	1,125						216		3,376
津		2,279	985	102							3,366
大津		2,279	1,050		900			174	180		4,583
京都	96	2,726	1,085	348				261	360		4,876
大阪	460	2,279	754	255	180			45	180		4,153
神戸	91	2,279	1,050		630			226	216		4,492
奈良	142	2,279	21	150	873			238	174		3,877
和歌山		2,279	840	203					180		3,502
鳥取		2,279	875						180		3,334
松江		1,692	850	112	135	41			1,231		4,061
岡山	434	1,809	147	58	630				216		3,294
広島	115	2,044	117	139	180				216		2,811
山口		1,551	768	235	342			48	345		3,289
徳島	101	1,457	725						144		2,427
高松	253	2,726	658	225		45			530		4,437
松山		1,668	900	348					216		3,132
高知		2,185	1,090	127		45			216		3,663
福岡	101	2,726	473	211					216		3,727
佐賀		1,574	925		900				216		3,615
長崎	435	2,279	440	232					180	51	3,617
熊本	128	2,726	525		630			248	180		4,437
大分		2,279	789	266					180	459	3,973
宮崎		1,997		1,160		69					3,226
鹿児島	101	2,279	362	132	630	42			180		3,726
那覇		1,833	1,012	116	900				180		4,041

調査都市	給水設備	排水設備	中央式 給湯設備	衛生器具 設 備	ユニット バ ス	ガス設備	浄化槽 設 備	その他 の設備	衛生設備 計
札幌	2,053	2,403		438	2,080	615		2,994	10,583
青森	2,220	2,349		877	3,505	541			9,492
盛岡	3,866	4,644	500	1,118	5,191	1,311			16,630
仙台	2,164	2,754		877	7,452	689			13,936
秋田	2,775	6,561		1,341	9,936	786	299	1,500	23,198
米沢	2,997	3,537	2,378	1,324		421			10,657
福島	2,997	3,618		1,126	2,346	575		1,122	11,784
水戸	2,460	2,970		860	3,753	570			10,613
宇都宮	2,923	2,781		868	2,484	575			9,631
前橋	2,127	2,970		602	2,963	570			9,232
浦和	1,628	2,295		860	4,067	570			9,420
千葉	3,385	4,590		1,109	2,760	974		1,470	14,288
特別区	2,127	2,565		799	3,864	609			9,964
横濱	2,460	2,268		860	4,278	564			10,430
新潟	2,127	3,861		602	2,397	570			9,557
富山	1,887	2,349		877	1,725	581		1,495	8,914
金沢	2,183	2,430		885	7,203	587			13,288
福井	1,942	3,564		860	276	655			7,297
甲府	2,534	3,591		1,290	4,968	1,219	1,530		15,132
長野	2,886	4,212		860	6,888				14,846
岐阜	1,036	1,512		602		421		1,164	4,735
静岡	2,109	2,943		851	1,545	564			8,012
名古屋	1,147	1,674		636	5,908	421		1,970	11,756
津	1,350	1,971		1,164		513	388	3,933	9,319
大津	1,628	2,295		860	2,484	570			7,837
京都	2,387	2,214		989	3,864	547		1,469	11,470
大阪	1,960	2,249		842	3,643	558		5,937	15,189
神戸	1,628	2,295		860	3,588	570			8,941
奈良	1,739	2,538		808	3,864	535			9,484
和歌山	1,887	2,754		602	3,930	609	995		10,777
鳥取	2,354	2,700		885	3,235	467			9,641
松江	2,497	3,645		1,315	3,776	1,242	721	1,110	14,306
岡山	2,886	4,212		860	3,530	570	9,976		22,034
広島	1,110	1,620		610	2,305	404			6,049
山口	2,146	1,512		1,178	2,760	1,202			8,798
徳島				602	1,424		463		2,489
高松	2,442	3,699		619	2,898	672			10,330
松山	1,295	1,890		688	4,968	421			9,262
高知	2,331	4,293		1,032		758	712		9,126
福岡	3,718	4,158		1,281		393			9,550
佐賀	1,554	1,674		110	6,800	598		1,472	12,208
長崎	2,405	2,997		860	3,168	570			10,000
熊本	2,016	2,565		817		621	649	1,301	7,969
大分	2,164	2,997		860		513			6,534
宮崎	1,572	2,295		898				1,979	6,744
鹿児島	1,850	2,295		860		570		2,409	7,984
那覇	2,312	2,862		885		575			6,634

調査都市	換気設備	換気扇	レンジフードファン	その他	空調設備計	避雷突針設備	火災報知設備	その他の設備	防災設備計備	運搬設備
札幌	124		315		439		240		240	-
旭川		542			542				-	-
滝川			330		330		500		500	-
釧路		783	540		1,323	204	1,020		1,224	7,482
帯広	1,950				1,950		1,080		1,080	-
青森		176	127		303		970		970	-
秋田		271	340		611				-	-
山形		605	340		945		940		940	2,446
福島					1,248				-	-
茨城	1,248								-	-
栃木		218			218	134			134	2,529
群馬			301		301				-	-
千葉県	638			200	838				-	-
特別区		249		245	494				-	-
東京都	370				370			324	324	-
新潟		231			231				-	-
富山		356			356				-	-
石川		36			36	193	1,030		1,223	4,697
福井		13			13		1,050		1,050	4,500
甲府		256			256		860		860	-
長野	1,950	365			2,315	108	900		1,008	2,699
岐阜		215	305		520		500		500	-
静岡		640			640				-	-
名古屋		369			369				-	-
古津		427			427				-	-
大津		178	307		485				-	-
京都	120	214			334		490		490	-
大阪		222			222	96	1,029	793	1,918	1,814
神戸		184			184				-	-
和歌山					-		1,010		1,010	1,476
和歌山		196	356		552				-	-
鳥取	371				371		1,030		1,030	-
松江		146			146				-	-
岡山					-				-	3,129
広島	936				936				-	-
山口		195			195	171			171	-
徳島		285			285		720		720	2,281
高松	448				448		930		930	-
松山		441	400		841		900		900	-
高知		149			149				-	-
福岡		427			427		38		38	-
佐賀		389			389				-	-
長門			328		328				-	2,446
熊本		199			199	77			77	-
大分		303			303				-	-
宮崎		229			229				-	-
鹿児島		154			154				-	-
那覇		498			498				-	-

6 主要資材価格、施工会社及び販売形態の状況

調査都市	生コンクリート (呼び強度180kg/cm ² :円/m ²)		生コンクリート (呼び強度180kg/cm ² :円/m ²)		鉄筋(SD形mm:円/t)			業者登録 の区分	分譲・賃貸 の区分	民間・公団 の区分
	スラブ18cm	スラブ21cm	スラブ18cm	スラブ21cm	10	13	19~25			
札幌	15,100	15,300	15,150	15,750	59,000	58,000	57,000	大	分	民
仙台	12,350	12,600	14,100	14,450	43,000	42,000	43,000	大	分	民
秋田	13,650	13,650	14,150	14,150	56,000	54,500	54,000	大	分	民
福島			13,400	13,400	48,000	47,000	35,000	大	分	民
宮城	10,500	10,700	11,300	12,500	45,000	45,000	45,000	大	分	民
千葉			10,900	10,900	44,000	44,000	43,000	大	分	民
前橋			9,800	9,800	60,000	59,000	59,500	大	分	民
宇都宮			12,200		57,250	57,250	57,250	大	分	民
栃木			10,300		57,500	56,500	57,500	大	分	民
群馬	10,300	10,300	10,600	10,600	50,000	49,000	49,000	大	分	民
茨城			14,300	14,300	37,000	36,000	37,500	大	分	民
新潟	11,300	11,300	11,500	11,500	54,500	54,000	52,500	大	分	民
富山	12,000	12,000	11,650	11,750	57,000	56,000	56,000	大	分	民
石川	11,000	11,000	12,500	12,500	41,000	40,000	39,000	大	分	民
福井			11,300	11,300	50,400	50,400	50,400	大	分	民
長野	15,800				42,000	41,000	41,000	大	分	民
岐阜	12,500		12,900		58,500	57,500	57,000	大	分	民
愛知	14,200	14,200	14,500	14,500	64,000	63,000	62,000	大	分	民
名古屋			14,600		58,000	57,000	56,000	大	分	民
京都	12,700	12,700	13,100	13,100	57,000	56,000	55,000	大	分	民
大阪	13,200	13,200	13,600	13,600	58,000	58,000	58,000	大	分	民
神戸	13,800	13,800	13,800	13,800	55,000	54,500	49,500	大	分	民
兵庫	13,300	13,300	13,700		54,000	54,000	54,000	大	分	民
和歌山	10,870	11,260	11,310	11,740	55,500	54,500	54,500	大	分	民
奈良	13,800	13,800	14,200	14,200	38,000	37,000	36,000	大	分	民
徳島	14,230	14,240	14,710	15,040	62,500	61,500	62,500	大	分	民
香川	12,700	12,950	13,250	13,550	50,500	50,500	49,700	大	分	民
岡山	13,250				57,000	56,000	55,000	大	分	民
広島	13,350				58,000	57,000	56,000	大	分	民
山口	13,350				59,000	58,000	57,000	大	分	民
島根	12,220	13,190	13,370	13,690	59,000	58,000	57,000	大	分	民
松江	11,610	11,930	12,060	12,310	37,000	36,000	35,000	大	分	民
鳥取	12,800	13,180	13,330	13,750	55,500	54,500	53,500	大	分	民
徳島	13,860	14,420			42,000	40,000	39,000	大	分	民
高松	11,000	11,300	13,200		61,000	60,000	59,000	大	分	民
愛媛			11,550	11,900	59,000	59,000	59,000	大	分	民
高知			11,700	12,050	38,500	37,500	36,500	大	分	民
福岡	11,600	12,600	12,800	13,100	55,000	53,000	51,000	大	分	民
北九州	12,300	12,600	12,600	12,800	58,000	57,000	56,000	大	分	民
大分	12,300	12,500	11,500	11,500	58,000	58,000	57,000	大	分	民
熊本	13,200		13,600		50,000	50,000	49,000	大	分	民
鹿儿岛					70,000	69,000	68,000	大	分	民

7 調査対象家屋の部分別仕上げ資材一覧

北海道 釧路市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
北海道 (札幌市)	小口二丁掛タイル (色物) 82% コンクリート打放 (下) 18% (加算) コンクリート打放 (下) 18% 岩綿板(塗装吸音板 12mm厚) 1% 軽量鉄骨天井下地 (石膏ボード9mmと も) 1% 防水モルタル 1% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 17% 陶磁器質吹付 (磁器質系) 13% 合成樹脂ペイント (並) 7% スタイロホーム打込 (38mm) 12%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 83% 紙貼(和紙・新鳥の 子紙・無地) 5% 角タイル(100mm 角・色物) 1% 小口二丁掛タイル (色物) 1% 石膏ボード (9mm厚) 2% 石膏ボード (12mm厚) 2% コンクリート打放 (下) 6% (加算) 石膏ボード (12mm厚) 1% 石膏ボード (15mm厚) 1% ロックウール(25 mm厚) 1% 発泡合成樹脂 17% スタイロホーム (30mm) 7%	角タイル(100mm 角・色物) 2% 塩化ビニールタイル (半硬質・2mm厚) 9% じゅうたん(モルタル 下地・並) 61% 軟質クッションフロ ア(モルタル下地 ・並) 5% 軟質クッションフロ ア(合板下地・並) 4% ラワン合板(5.5mm 厚) 2% 合成樹脂畳 (合成樹脂床) 13% モルタル(金こて仕 上げ) 1% (加算) 角タイル(100mm 角・色物) 1% コンクリート(金こ て仕上げ) 15%	岩綿板(塗装吸音板 ・12mm厚) 1% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 3% 石膏ボード(化粧板 ・並・9mm厚) 13% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 76% 紙貼(新鳥の子紙・ 無地) 2% コンクリート打放 (下) 5% (加算) 軽量鉄骨天井下地 16% 軽量鉄骨天井下地 (石膏ボード9mm厚 とも) 50% 陶磁器質吹付(磁 器質系) 5% スタイロホーム打込 (50mm) 34%	アスファルト防水(露 出防水) 100%	(木製) かまち戸(ラワン) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) サッシュ(スライド式 ・枠見込90mm) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込100mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) かまち戸(枠見込 100mm) サッシュ(固定式・ 枠見込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(固定式・ 枠見込100mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm)

都道府県 (調査対象)市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	スタイルロホーム打込 (20mm) 8% 複合板打込(スタイル ロホーム25mm+石 綿板3mm) 1% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 6% 油性ペイント (木部2回塗)11% 油性ペイント (鉄部2回塗) 4% ラッカー(下) 1%	スタイルロホーム打込 (50mm) 21% スタイルロホーム打込 (20mm) 14%				サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込100mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) (ステンレス) かまち戸(枠見込 100mm) サッシュ(枠見込 100mm) 自動扉装置 片開き (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 磨き板ガラス(8mm 厚) 網入り板ガラス(磨 き板・6.8mm厚) 複層ガラス(普通板 ・12mm厚) 複層ガラス(普通板 16mm厚) ガラスブロック (193×193×95mm)

都道府県 調査対象市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
青森県 (青森市)	コンクリート打放 (並) 97% カーテンウォール金 属製(アルミニウム 製方立形式のもの) 3% (加算) モルタル (はけ引き) 1.4% 油性ペイント 4% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 8% 陶磁器質吹付(セ メント系) 7.1%	コンクリート打放 (並) 22% 石綿セメント板(フ レキシブル板4.0mm 厚) 5% 石膏ボード(9mm厚) 50% 合成樹脂壁紙(無地 ・並) 7% プリント合板(3mm 厚) 16% (加算) 油性ペイント 7% 砂壁状セメント系吹 付(厚付型セメント) 8% モルタル(金ごて磨 き) 7% 断熱材 82%	塩化ビニルタイル (半硬質タイル2mm 厚) 20% 畳(中) 53% ラワン合板(5.5mm 厚) 6% 塗膜防水 6% モルタル防水 15% (加算) 断熱材 95%	石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 24% 半硬質繊維板(塗装 吸音板9mm厚) 45% 合成樹脂紙貼 (布裏) 17% コンクリート打放 (並) 12% 木毛セメント板 (20mm厚) 15% (加算) 樹脂入りモルタル吹 付 14% 断熱材 95%	塗装防水(モルタル 保護層あり・エポキ シ系) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込60mm) かまち戸(粹見込70 mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm) 複層ガラス(普通板 ・12mm厚)
岩手県 (盛岡市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	合成樹脂壁紙 (並・無地、下地ボ ード9mm厚) 80.2% 角タイル(100mm角 ・色物) 1.4%	畳(中) 14.7% ラワン合板 (5.5mm厚) 5.4% じゅうたん (混毛7mm) 42.6%	目透し天井(並下) 14.7% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 61.8%	シート防水非遊歩用 (合成ゴム系0.8mm 厚) 100% 着色亜鉛鉄板長尺瓦 樺茸(0.27mm厚)100%	(木製) フラッシュ戸(単板 張合板) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		角タイル(100mm 角・色物、下地フレ キシブル板8.0mm) 2.5%	じゅうたん (混毛4mm) 0.5% 軟質クッションフロ アー(中) 13.3% クリンカータイル (150mm角) 1.2% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル・2 mm厚) 11.0% コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 11.3%	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 15.5% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント(下地 ボード9mm厚) 8.0%		ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込100mm、煙感知器 連続自動閉鎖装置付) フラッシュ戸 (粹見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込100mm) 網戸(合成樹脂網) アコーディオンドア (アルミ縁) ガラスブロック (145X145X95mm)
宮城県 (仙台市)	小口二丁掛タイル (色物) 1.83% モルタル(木ごて磨 き) 61.7%	モルタル(金ごて磨 き) 30.3% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 50.8%	角タイル(100mm 角・色物) 1.3% 軟質クッションフロ ア(中) 36.4%	木毛セメント板(コ ンクリート打込18 mm厚) 1.2% 岩綿塗装吸音板 (12mm厚) 2.0%	シート防水遊歩用 (合成樹脂系2.0mm 厚・塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸 (合成樹脂被覆合板・並) フラッシュ戸(しな 合板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 20.0% (加算) 合成樹脂系ペイント (並) 6.0% 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 55.8%	石膏ボード(12mm 厚) 18.9% (加算) 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 45.1%	コンクリート直仕上 げ(金ごて仕上げ) 1.6% 合成樹脂壁(合成樹 脂床) 17.3% 着色コンクリート床 18.9% じゅうたん(混毛4 mm) 24.5%	合成樹脂紙貼(紙葺) 30.3% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 48.9% ラワン合板(4.0mm 厚) 5.4% 合成樹脂系ペイント (並) 5.1% 砂壁状セメント吹付 (ひる石系) 7.1%		かまち戸(ラワン) ふすま(中) (鋼製) アングル戸(粹見込 85mm) フラッシュ戸(粹見 込100mm) フレッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) 網戸(ステンレス網) フレームレスドア (強化ガラス戸・手動) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
秋田県 (秋田市)	コンクリート打放 100% (加算) 陶磁器質吹付(セ メント系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 87% ラワン合板 (4.0mm厚) 13%	畳(上) 9% 単板張合板 71% 軟質クッションフロ ア(中) 3% リノリウム(2mm厚) 3% ラワン合板 (5.5mm厚) 5%	フレキシブルボード (吸音板・6.0mm厚) 9% フレキシブルボード (吸音板・3.2mm厚) 7.8% ラワン合板 (4.0mm厚) 5%	シート防水遊歩用 (合成樹脂系2.0mm 厚・塩化ビニール系) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) 障子(腰付額なし) ふすま(中) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(ナベリ出 し・枠見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚)
山形県 (米沢市)	コンクリート打放 モルタル(はけ引巻)十	角タイル(100mm角 ・白色) 5%	塩化ビニル(半 硬質・2mm厚) 32%	半硬質繊維板(普通 板・6.0mm厚) 34%	アスファルト防水 (露出防水) 100%	(木製) 障子(腰付額なし)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
合成樹脂系ペイント 100%	モルタル(金ごて磨き)+合成樹脂エマルジョンペンイント4% 樹脂入りモルタル吹付1% 合成樹脂壁紙(並柄物)10% 軟質繊維板(普通板・12mm厚)17% 軟質繊維板(吸音板・9mm厚)+合成樹脂系エマルジョンペンイント50% 石膏ボード(12mm厚)+合成樹脂系エマルジョンペンイント(二重塗)4% 石膏ボード(12mm厚)+合成樹脂系エマルジョンペンイント9%	リノリウム・リノタイル(2mm厚)7% モルタル(金ごて仕上げ)3% 特殊モルタル(硬化剤・並)11% 角タイル(100mm角・色物)2% モザイクタイル(角型・色物)2% 畳(中)27% ラワン合板(5.5mm厚)10% 緑甲板(ラワン)6%	木材(ラワン・杉)48% 石綿セメント板(普通板・6.3mm厚)1% 石綿セメント板(普通板・6.3mm厚)+合成樹脂系エマルジョンペンイント7% 合成樹脂板(塩化ビニル・0.8mm厚)2% 厚リブ状(加算)モルタル(金ごて仕上げ)2% ラワン合板(5.5mm厚)5% 樹脂入りモルタル吹付1%	砂付ルーフィング(シングル葺)100%	ふすま(中)フラッシュ戸(しな合板) (アルミニウム)サッシュ(スライド式・枠見込70mm)サッシュ(すべり出し・枠見込70mm)サッシュ(固定式・枠見込70mm)かまち戸(枠見込100mm)(鋼製)フラッシュ戸(枠見込85mm)
合成樹脂系ペイント 100%	モルタル(金ごて仕上げ)3% モルタル(中)26%	モルタル(金ごて仕上げ)3% モルタル(中)26%	合成樹脂貼(紙裏)33% 砂壁状セメント系吹付(ひる石系)41%	砂付ルーフィング(シングル葺)100%	(木製)サッシュ(スライド式・枠見込120mm)

都道府県
(調査対象市)

福島県
(福島市)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
茨城県 (水戸市)	小口二丁掛タイル (色物) 1%	小口二丁掛タイル (色物) 1%	クリンカータイル (150mm角) 2%	岩綿板(塗装吸音板 ・9mm厚) 2%	アスファルト防水 (露出防水)100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並)
都道府県 (調査対象市)	(加算) 断熱材 49%	石膏ボード(12mm 厚) 3% 合成樹脂壁紙(下地 石膏ボード) 91%	単板張合板 4% ラワン合板(5.5mm 厚) 2% 軟質クッションフロ ア(中) 7% じゅうたん(ニード ルパンチ相当)18% 防水モルタル 13% ニードルパンチ(下 地防振床組) 6% 軟質クッションフロ ア(中)(下地防振 床組) 19%	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)26% (加算) スタイロホーム打込 (30mm) 9% 石綿セメント板 (スタイロホーム打 込・30mm) 16%		フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) (鋼製) フラッシュ戸 (枠見込85mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 網入板ガラス (磨き板・6.8mm厚) 網入板ガラス (型板・6.8mm厚)

都道府県 調査対象 市(都)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 76% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 23%	角タイル(100mm 角・色物) 3% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 82% ラワン合板(4.0mm 厚) 10% モルタル(金ごて磨 き) 1% 陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 3%	ラワン合板(5.5mm 厚) 6% 合成樹脂量(合成樹 脂床) 18% 軟質クッションフロ ア(中) 41% モルタル(金ごて仕 上げ) 1% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル) 4% ニードルパンチカー ペット 28%	半硬質繊維板(普通 板・60mm厚) 2% 合成樹脂壁紙 (紙葺) 86% ラワン合板(4.0mm 厚) 1% 断熱材 1% モルタル(金ごて仕 上げ)+砂壁状合成 樹脂吹付 3%		かまち戸(杉) 板戸(ラワン合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) フラッシュ戸(枠見 込100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) よろい戸(枠見込 70mm) (ステンレス) かまち戸(枠見込 100mm) サッシュ(枠見込 100mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 網入板ガラス(磨き 板6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 6.8mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	具
栃木県 (宇都宮市)	コンクリート打放 (並) 100% (加算) 陶磁器質状吹付(磁 器質系) 100%	角タイル(100mm 角・色物) 5% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 88% ラワン合板(40mm 厚) 7%	モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 30% コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 1% 畳(中) 26% 軟質クッションフロ ア(中) 5% ラワン合板(5.5mm 厚) 5% 単板張合板 3.3%	コンクリート打放 (並) 40% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 7% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 10% 石膏ボード(着色板 ・7mm厚) 80% (加算) 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 55% 砂壁状セメント系吹 付(化粧用セメント) 2.1%	シート防水非遊歩用 (合成樹脂系0.8mm 厚・塩化ビニル系) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) フラッシュ戸(しな 合板) 障子(腰付額なし) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式 ・枠見込70mm) サッシュ(固定式 ・枠見込70mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込70mm) (ガラス) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 磨き板ガラス(5mm厚) 普通板ガラス(透明・ 5mm厚)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
群馬県 (前橋市)	樹脂入りモルタル吹付 80% 石綿セメント板(平板・6.3mm厚) 1% 小口二丁掛タイル(色物) 19% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 1%	角タイル(100mm角・白色) 4% 合成樹脂壁紙(並柄物) 5% 合成樹脂壁紙(並無地) 77% ラワン合板(4.0mm厚) 14%	モルタル(金ごて仕上げ) 25% クリンカータイル(150mm厚) 4% 合成樹脂畳(合成樹脂床) 28% 合成樹脂被覆合板 10% ラワン合板(5.5mm厚) 5% 軟質クッションフロア(中) 27%	石膏ボード(着色板・7mm厚) 30% 合成樹脂被覆合板(並・4mm厚) 41% ラワン合板(4.0mm厚) 60% 樹脂入りモルタル吹付 2% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 22%	スレート着色板 95% 塗膜防水(保護層なし・合成ゴム系) 5% (加算) 断熱材 74%	型板ガラス(4mm厚) (木製) サッシュ(スライド式・枠見込90mm) 板戸(ラワン合板) フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板・並ふすま(並) 障子(腰付額なし)(鋼製) アングル戸(枠見込85mm) フラッシュ戸(枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込100mm) サッシュ(スライド式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・枠見込70mm) サッシュ(すべり出し 枠見込70mm)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
<p>外部仕上げ</p> <p>陶磁器質吹付(エポキシ樹脂系) 100%</p>	<p>内部仕上げ</p> <p>角タイル(100mm角・色物) 2%</p> <p>合成樹脂壁紙(並柄物) 77%</p> <p>ラワン合板(4.0mm厚) 15%</p> <p>陶磁器質吹付(エポキシ樹脂系) 6%</p>	<p>床仕上げ</p> <p>モルタル(金ごて仕上げ) 12%</p> <p>角タイル(100mm角・色物) 3%</p> <p>畳(中) 33%</p> <p>モザイクパーケット 30%</p> <p>緑甲板(栓) 1%</p> <p>ラワン合板(5.5mm厚) 8%</p> <p>軟質クッションフロア(中) 13%</p>	<p>天井仕上げ</p> <p>合成樹脂紙貼(紙裏) 43%</p> <p>合成樹脂板(塩化ビニル・0.8mm厚) 5%</p> <p>ラワン合板(4.0mm厚) 8%</p> <p>陶磁器質吹付(エポキシ樹脂系) 8%</p> <p>一重回り縁(並) 36%</p>	<p>屋根仕上げ</p> <p>着色石綿セメント板 100%</p>	<p>建具</p> <p>(ガラス)</p> <p>普通板ガラス(透明・5mm厚)</p> <p>普通板ガラス(透明・3mm厚)</p> <p>普通板ガラス(つや消し・2mm厚)</p> <p>型板ガラス(4mm厚)</p> <p>網入板ガラス(型板6.8mm厚)</p> <p>(木製)</p> <p>フラッシュ戸(しな合板)</p> <p>かまぼこ(ラワン)</p> <p>ふすま(並)</p> <p>(鋼製)</p> <p>アングル戸(粹見込85mm)</p> <p>フラッシュ戸(粹見込85mm)</p> <p>(アルミニウム)</p> <p>サッシュ(スライド式)</p> <p>・粹見込70mm)</p> <p>サッシュ(固定式)</p> <p>・粹見込70mm)</p>
<p>埼玉県(浦和市)</p>					

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
千葉県 (千葉市)	モザイクタイル(角型・色物) 68% 樹脂入りモルタル吹付 32%	角タイル(100mm角・色物) 2% 合成樹脂壁紙(上・柄物) 80% ラワン合板(4.0mm厚) 14% 樹脂入りモルタル吹付 4%	モルタル(金ごて仕上げ)+合成樹脂系ペイント(並) 9% 角タイル(100mm角・色物) 3% 塩化ビニルタイル(半硬質タイル・2mm厚) 14% 層(中) 24% フロ어링(なら) 3% 合板(12mm厚) 2% ラワン合板(5.5mm厚) 5%	樹脂入りモルタル吹付 9% 石膏ボード(着色板・9mm厚) 28% ラワン合板(4.0mm厚) 7% 合成樹脂紙貼(紙葺) 56%	アスファルト防水(モルタル(目地切)12層) 98% 塗膜防水(保麗層なし・エマルジョン系) 2%	(木製) フラッシュ戸(しな合板折戸) かまち戸(ラワン) 2% ふすま(中) 障子(腰付額なし)(アルミニウム) サッシュ(スライド式・砕見込70mm) サッシュ(固定式・砕見込70mm) サッシュ(すべり出し・砕見込70mm)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			カーペット 40%			フラッシュ戸 (枠見込70mm) 折戸 網戸(合成樹脂網) (鋼製) フラッシュ戸 (枠見込85mm) アングル戸 (枠見込85mm)
東京都 (特別区)	コンクリート打放 (中) 2% 小口二丁掛タイル (白色) 9.8% (加算) 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系) 2%	角タイル(100mm 角・色物) 1% 角タイル(75mm角 ・色物) 1% コンクリート打放 (中) 1% 石符ボード (9mm厚) 1% 合成樹脂壁紙(上・ 無地) 9.1% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 2%	花崗岩(国産石・並・ 磨き仕上げ) 2% コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 2% 角タイル(75mm角 ・色物) 17% 合成樹脂畳(合成樹 脂表) 1.3% じゅうたん(混毛4 mm) 3.5% フローリング(なら ・18mm厚) 9% ラワン合板 (5.5mm厚) 6%	合成樹脂紙貼 (紙裏) 6.3% コンクリート打放 (中) 20% ラワン合板 (5.5mm厚) 2% 単板張合板 1.3% 岩綿板(塗装吸音板 ・12mm厚) 2% (加算) 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系) 1.6%	アスファルト防水 (モルタル(目地切)・ 8層) 100% (加算) メタルラス 100%	(木製) 板戸(ラワン合板) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(ラワン) ふすま(中) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸 (枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込100mm) サッシュ(固定式・ 枠見込100mm)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
神奈川県 (横浜市)	小口二丁掛タイル (白色) 70% モルタル (はけ引き) 30% (加算) 陶磁器質状吹付(セメント系) 19%	コンクリート打放 (並) 4% 小口二丁掛タイル (白色) 3% 石綿セメント板(平板・6.3mm厚) 1% 合成樹脂壁紙(並・無地) 75% ラワン合板 (4.0mm厚) 17% (加算) 油性ペイント 4% 陶磁器質状吹付(セメント系) 1% 繊維吹付(石綿) 19% 断熱吸音材 1%	モルタル(金ごて仕上げ) 3% 合成樹脂塗床(エポキシ系) 27% 塩化ビニルタイル (軟質タイル2mm厚) 11% 合成樹脂畳(合成樹脂表) 19% フローリングブロック(なら) 9% ラワン合板 (5.5mm厚) 21% 防水パン 1%	ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 合成樹脂紙貼 (紙葺) 68% 石綿セメント板(普通板・6.3mm厚) 3% コンクリート打放 (並) 1% 仕上げなし 22% (加算) 陶磁器質状吹付(セメント系) 38% 断熱吸音材 32%	アスファルト (露出防水) 89% 塗膜防水(合成ゴム系・保護層なし) 5% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 6%	フラッシュ戸(枠見込70mm) (ステンレス) フラッシュ戸(枠見込100mm) (ガラス) 磨き板ガラス(5~6mm厚)

都道府県 (調査対象) 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
新潟県 (新潟市)	小口二丁掛タイル (色物) 94% モルタル (はけ引き) 4% カーテンウォール (金属製・アルミニ ウム製方立形式のも の) 24% (加算) 色セメント吹付 3%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 80% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 13%	角タイル(75mm角 ・色物) 17% 畳(中) 28% じゅうたん(混毛4 mm) 11% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% 軟質クッションフロ ア(中) 32% フローリング(なら ・1.5mm厚) 6%	合成樹脂紙貼 (布裏) 55% 木材(杉・ラワン) 28% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 石綿セメント板 (フレキシブルポー ド(普通板)5mm厚) 9% (加算) 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚リブ 状) 2% 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 9%	アスファルト防水 (露出防水) 62% モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 38%	普通板ガラス(透明 ・6mm厚) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 網入板ガラス (型板・6.8mm厚) 網入板ガラス (磨き板・6.8mm厚)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
富山県 (富山市)	小口二丁掛タイル (色物) 44% 陶磁器質状(セメント系) 56%	モルタル(金ごて磨き) 6% 石膏ボード(9mm厚) 5% 合成樹脂壁紙(並・無地) 44% 合成樹脂壁紙(上・無地) 42% 仕上げなし 3% (加算) 陶磁器質状吹付(エポキシ樹脂系) 4%	モルタル(金ごて仕上げ) 24% 合成樹脂(合成樹脂床) 13% じゅうたん(混毛4mm) 19% 軟質クッションフロア(中) 37% ラワン合板(9mm厚) 4% 仕上げなし 3%	石膏ボード(吸音板9mm厚) 52% 合成樹脂紙貼(紙裏) 16% ラワン合板(4.0mm厚) 4% 繊維吹付(岩綿) 11% 砂壁状合成樹脂吹付(アクリル系) 15% 仕上げなし 2% (加算) 発泡合成樹脂100%	砂付ルーフィング(シングル葺) 44%	(木製) フラッシュ戸(しな合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込60mm) サッシュ(固定式・枠見込60mm) アコーデオンドア(アルミ緑のもの) (ガラス) 普通板ガラス(透明・3mm厚) 網入板ガラス(磨き板6.8mm厚)
石川県 (金沢市)	防水モルタル 7% モザイクタイル(角型・色物) 12% アルミニウム板(並) 4%	角タイル(100mm角・色物) 1% 小口二丁掛タイル(窯変) 1%	角タイル(100mm角・色物) 3% 床用アスファルトブロック(20×120×240mm) 2%	岩綿板(塗装吸音板・9mm厚) 2% 石膏ボード(吸音板・9mm厚) 39%	アスファルト防水(モルタル(目地切)・6層) 4% アスファルト防水(露出防水) 20%	(木製) フラッシュ戸(しな合板) フラッシュ戸(合成樹脂被覆合板・並)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	仕上げなし (加算) 77% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 66% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 11%	合成樹脂壁紙 (並・柄物) 53% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 布貼 (国産・並) 3% モルタル (金ごて磨き) 1% 仕上げなし (加算) 33% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 15% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 3% 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 1%	コンクリート直仕上げ (表面すべり止目地仕上げ) 11% コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 1% 合成樹脂畳 (合成樹脂床) 12% じゅうたん (混毛4mm) 19% 畳 (中) 2% 軟質クッションフロア (中) 15% 単板張合板 3% ラワン合板 (5.5mm厚) 4% モルタル (金ごて仕上げ) 8% 特殊モルタル (アスファルトモルタル) 11% 仕上げなし 9%	合成樹脂紙貼 (紙裏) 29% 布貼 (葛布・柄物) 2% 単板張合板 2% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% 木毛セメント板 (コンクリート打込・25mm厚) 1% 石綿セメント板 (普通板・6.3mm厚) 12% 仕上げなし (加算) 9% 合成樹脂系エマルジョンペイント 12%	アスファルト防水 (モルタル (目地切)・6層) 4% アスファルト防水 (露出防水) 20%	かまち戸 (ラワン) ふすま (中・並) 障子 (腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸 (枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ (スライド式・枠見込70mm) サッシュ (すべり出し・枠見込70mm) かまち戸 (枠見込70mm) (ガラス) 網入板ガラス (磨き板・6.8mm厚) 網入板ガラス (型板・6.8mm厚) 普通板ガラス (つや消・3mm厚)
福井県 (福井市)	小口二丁掛タイル (窯変) 69%	合成樹脂壁紙 (並・柄物) 73%	モザイクタイル (角型・色物) 6%	合成樹脂板 (塩化ビニル・0.8mm厚リブ状) 5%	アスファルト防水 (モルタル (目地切)・8層) 100%	(木製) 障子 (腰付額なし) ふすま (並)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	樹脂入りモルタル吹付 31%	布貼(国産布・並) 8% 角タイル(100mm角・色物) 3% 樹脂入りモルタル吹付 5% ラワン合板(4.0mm厚) 6% 仕上げなし 5%	クリンカータイル(180mm角) 12% 畳(中) 25% 軟質クッションフロア(中) 50% モルタル(金ごて仕上げ) 1% 仕上げなし 2% ラワン合板(5.5mm厚) 4%	木材(杉・ラワン) 16% ラワン合板(4.0mm厚) 4% 合成樹脂紙貼(布裏) 66% 石葺ボード(吸音板・9mm厚) 4% 吹付タイル 3% 仕上げなし 2%		フラッシュ戸(しな合板) かまち戸(ラワン)(鋼製) フラッシュ戸(枠見込85mm) (アルミニウム) かまち戸(枠見込70mm) サッシュ(スライド式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・枠見込70mm) よろい戸(ガラス) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き板・6.8mm厚) 普通板ガラス(透明・3mm厚) 型板ガラス(2mm厚) フレームレスドア(アクリル戸・手動) ガラスブロック(透明100×100×95mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山梨県 (甲府市)	モルタル(はけ引き) +樹脂入りモルタル 吹付 43% 小口二丁掛タイル (色物) 57%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 89% ラワン合板 (4.0mm厚) 7%	ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 畳(中) 12% クリンカータイル (180mm角) 2% フローリング(なら ・18mm厚) 5% リノリウム (2mm厚) 9% 単板張合板 61%	ラワン合板 (4.0mm厚) 7% なら合板(6mm厚) 12% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 13% モルタル(金ごて仕 上げ) 64%	着色石綿セメント板 26%	(ステンレス) かまち戸(粹見込 100mm) (木製) サッシュ(スライド 式・粹見込100mm) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(すべり出し ・粹見込60mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・2mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
長野県 (長野市)	小口二丁掛タイル (色物) 1%未満 樹脂入りモルタル吹 付 92% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 8%	角タイル(100mm角 ・色物) 1%未満 油性ペイント 18% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 80% アラスター(並) 2% (加算) 断熱材 48%	角タイル(100mm角 ・色物) 2% モザイクタイル(丸 型・色物) 1%未満 モルタル(金ごて仕 上げ) 38% じゅうたん(混毛4 mm) 35% アスファルトタイル (3mm厚・明色) 3% 軟質クッションフロ ア(上) 4% 合成樹脂畳(合成樹 脂表) 17%	砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 2% 岩綿板(塗装吸音板 ・9mm厚) 2% 石綿セメント板(普 通板・6.3mm厚)7% 合成樹脂紙貼 (紙葺) 25% 石膏ボード(着色板 ・7mm厚) 8% 石膏ボード(普通板 ・7mm厚) 1% 油性ペイント 1%未満 断熱材 54%	シート防水遊歩用 (合成樹脂系2.0mm 厚・塩化ビニル系) 82% アスファルト防水 (露出防水) 18%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込100mm) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込100mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) サッシュ(すべり出し ・粹見込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 普通板ガラス(透明 3mm厚) 普通板ガラス(透明 6mm厚) 型板ガラス(2mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岐阜県 (岐阜市)	花崗岩(国産石・並 ・磨き仕上げ) 1% コンクリート打放 (並) 3% 陶磁器質吹付(磁 器質系) 96%	モルタル(金ごて磨 き) 6% 角タイル(100mm角 ・色物) 9% 石膏ボード (12mm厚) 4% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 22% 合成樹脂被覆合板 (並・3mm厚) 33% ラワン合板 (4.0mm厚) 13% 仕上げなし 13%	モルタル(金ごて仕 上げ) 9% 角タイル(75mm角 ・色物) 4% 軟質クッションフロ ア(上) 43% リノリウム (2mm厚) 2% 畳(中) 31% ラワン合板 (9.0mm厚) 8% 単板張合板 2% クリンカータイル (180mm角) 1%	合成樹脂板(塩化ビ ニル1.0mm厚リプ状) 4% 石綿セメント板(普 通板6.3mm厚) 5% 石膏ボード(普通板 ・12mm厚) 2% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 69% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 2% 仕上げなし 10%	塗膜防水(モルタル 保護層あり・エマル ジョン系) 100%	網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 複層ガラス(普通板 ・16mm厚) 複層ガラス(普通板 ・12mm厚) 熱線反射ガラス(ブ ロンズ・10mm厚) ステンドグラス(形、 リップ共通のもの)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
静岡県 (静岡市)	打放補修 100% (加算) 陶磁器質吹付(磁 器質系) 70% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 30%	(加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 17%	小口二丁掛タイル (色物) 3% 畳(中) 17% フローリング(なら ・15mm厚) 53% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 軟質クッションフロ ア(中) 2%	(加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 51% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 35%		サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) かまち戸(枠見込 70mm) フラッシュ戸(枠見 込70mm) 網戸(ステレンズ網) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 型板ガラス(2mm厚)
	打放補修 100% (加算) 陶磁器質吹付(磁 器質系) 70% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 30%	角タイル(100mm角 ・色物) 5% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 76% ラワン合板 (4.0mm厚) 19% (加算) 発泡合成樹脂 59%	小口二丁掛タイル (色物) 3% 畳(中) 17% フローリング(なら ・15mm厚) 53% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 軟質クッションフロ ア(中) 2%	(加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 51% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 35%	砂付ルーフィング (シングル葺) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(並) (鋼製) アングル戸(枠見込 85mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			軟質クッションフロア(中)(下地転床) 9% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 6% 仕上げなし 3%	石綿セメント板(普通板 6.3mm) 3% (加算) 発泡合成樹脂 32% 砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 50% 陶磁器質状吹付(磁器質系) 3%		フラッシュ戸(枠見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込 70mm) サッシュ(固定式・枠見込 70mm) サッシュ(オペリ出し・枠見込 70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明・3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き板・6.8mm厚)
愛知県 (名古屋市)	小口二丁掛タイル(色物) 13% 陶磁器質状吹付(磁器質系) 87%	合成樹脂壁紙(並・無地) 78% ラワン合板(4.0mm厚) 17% 角タイル(100mm角・色物) 5%	モルタル防水 9% 塩化ビニルタイル(軟質タイル・2mm厚) 41% 合成樹脂(合成樹脂床) 40%	ラワン合板(4.0mm厚) 7% 石膏ボード(駄目・9mm) 41% 石膏ボード(普通板・9mm) 3%	シート防水非遊歩用(合成ゴム系 0.8mm厚) 46% モルタル防水(ケイ酸ソーダ系) 54%	(木製) サッシュ(スライド式・枠見込 90mm) フラッシュ戸(しな合板) ふすま(並)

外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
<p>外部仕上げ</p>	<p>(加算) 断熱材 33%</p>	<p>ラワン合板 (5.5mm厚) 6% クリンカータイル (180mm角) 4%</p>	<p>合成樹脂紙貼 (紙裏) 49% (加算) 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 3%</p>	<p>(加算) 発泡合成樹脂 46%</p>	<p>(鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) かまち戸(粹見込 70mm) 網戸(ステンレス網) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚) 網入板ガラス(型板・ 6.8mm厚) 〃(磨き板・6.8mm)</p>
<p>三重県 (津市)</p>	<p>陶磁器質吹付(セ メント系) 98% 小口二丁掛タイル (色物) 2%</p>	<p>畳(中) 37% 軟質クッションフロ ア(中) 37% ラワン合板 (5.5mm厚) 4% モルタル(金ごて仕 上げ) 11%</p>	<p>石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 54% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% 一重回り縁(並下) 36% 合成樹脂被覆合板 (並・4mm厚) 6%</p>	<p>アスファルト防水 (露出防水) 25%</p>	<p>(木製) サッシュ(スライド 式・粹見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見込 85mm)</p>

滋賀県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 9%	角タイル(100mm角 ・色物) 4% モザイクタイル(角 型・色物) 7%			(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) フラッシュ戸 網戸(合成樹脂網) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚)
滋賀県 (大津市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	ラワン合板 (4.0mm厚) 22% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 70% コンクリート打放 (並) 5% 角タイル(100mm角 ・色物) 3%	モルタル(金ごて仕 上げ) 3% フローリング(アビ トン・15mm厚) 54% リノリウム(3mm厚) 2% 軟質クッションフロ ア(中) 6% コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 1% ラワン合板 (5.5mm) 4% 畳(中) 30%	ラワン合板 (4.0mm厚) 9% 合成樹脂壁紙 (紙裏) 60% コンクリート打放 (並) 1% 単板張合板 30%	アスファルト防水 (露出防水)100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) かまち戸(ラワン) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (銅製) アングル戸(枠見込 85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
京 都 府 (京都市)	モザイクタイル(角 型・色物) 72% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 28%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 81% 石膏ボード (9mm厚) 14% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% モザイクタイル(角 型・色物) 1% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 2% (加算) 発泡合成樹脂 22% 断熱吸音材 2%	じゅうたん(混毛4 mm) 45% 合成樹脂畳(合成樹 脂床) 16% モルタル(金ごて仕 上げ) 9% 軟質クッションフロ ア(中) 8% 合成樹脂塗床(塩化 ビニル) 7% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% モザイクタイル(角 型・色物) 5%	合成樹脂紙貼 (紙巻) 53% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 17% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 5% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)24% 石綿セメント板(吸 音板・4mm厚) 1% 岩綿板(塗装吸音板 ・19mm厚) 1%	アスファルト防水 (露出防水) 92% 砂付ルーフィング (シングル葺) 8%	(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) アコーディオンドア (アルミ縁のもの) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm)
						(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) クロゼットドア (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
			角タイル(100mm角 ・色物) 2% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル・3 mm厚) 2%			サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込70mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込100mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) ガラスブロック (100×100×95mm) 型板ガラス (4mm厚) 網入板ガラス (型板・6.8mm厚) 網入板ガラス (磨き板・6.8mm厚) 磨き板ガラス(5～ 6mm厚) (加算) 油性ペイント
大阪府 (大阪市)	コンクリート打放補 修 100% (加算)	合成樹脂壁紙(並・ 粉物)(下地石膏ボ ード) 90%	モザイクタイル (角型・色物) 3% 畳(中)(直敷) 16%	合成樹脂紙貼 (紙裏)(下地コン クリート打放) 1%	アスファルト防水 (露出防水) 56% シート防水非遊歩 用(合成樹脂系)	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	角タイル(100mm角 ・色物) 1% ラワン合板(9mm) 5% 着色石綿化粧板 4% (加算) 断熱吸音材 5%	タフテッドカーベッ ト(10mm) 48% ニードルパンチカー ペット(4mm) 2% 軟質クッションフロ ア 11% コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ)16% ラワン合板(9.0mm) 4% (加算) 断熱吸音材 17%	合成樹脂紙貼 (紙裏)(下地石膏 ボード9mm厚)62% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 7% コンクリート打放 (補修) 13% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)13% 断熱吸音材 13%	0.8mm厚・塩化ビニ ル系) 23% 着色石綿セメント板 (下地モルタル) 21%	ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込100mm) プレスドア クロゼットドア 固定ガラリ (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込70mm) フラッシュ戸(枠見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板

都道府県 (調査対象 都 市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建 具
兵 庫 県 (神 戸 市)	陶磁器質状吹付 (セメント系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 82% 角マイル(100mm角・ 色物) 2% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% モルタル(金ごて磨 き) 3% 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 5% 合成樹脂系エマルジ ョンペイント 3% 木毛セメント板 (2.5mm厚) 10%	じゅうたん(混毛4 mm) 30% 合成樹脂畳(合成樹 脂床) 20% 軟質クッションフロ ア(中) 20% ラワン合板 (9.0mm厚) 5% 角マイル(100mm角 ・色物) 3% モルタル(金ごて仕 上げ) 3% モルタル防水 19%	合成樹脂紙貼 (紙巻) 45% 岩綿板(塗装吸音板 ・9mm厚) 20% ラワン合板 (4.0mm厚) 3% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 2% 単板張合板 30% 木毛セメント板 (2.5mm厚) 25%	アスファルト防水 (モルタル(目地切) ・8層) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) かまち戸(ラワン) ふすま(中・並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 網入板ガラス (型板・6.8mm厚) 網入板ガラス (磨き板・6.8mm厚) 普通板ガラス (透明・5mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
奈良県 (奈良市)	陶磁器質状吹付 (セメント系) 100%	角タイル(100mm角 ・窯変) 1%未満 石綿セメント板(平 板・6.3mm厚) 1%未満 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 86% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 仕上げなし 4% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (ビニル系) 2% 陶磁器質状吹付 (セメント系) 1%未満	畳(中) 17% パーティクルボード (15mm厚) 3% じゅうたん(混毛7 mm) 54% じゅうたん(混毛4 mm) 3% モルタル(金ごて仕 上げ) 1%未満 コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 2% コンクリート直仕上げ (加算) 織維吹付(石綿) 2% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 1%未満	岩綿板(塗装吸音板 ・19mm厚)1%未満 石綿セメント板(普 通板・6.3mm厚)1% 合成樹脂紙 ₁₎ (紙裏) 70% プリント合板 (3mm厚) 17% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 仕上げなし 4% (加算) 織維吹付(石綿) 2% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 1%未満	アスファルト防水 (露出防水) 25%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) サッシュ(スライド 式・枠見込85mm) サッシュ(固定式・ 枠見込85mm) アングル戸(枠見込 85mm) フラッシュ戸(枠見 込85mm) クロゼット (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込70mm) (ガラス) ガラスブロック(透 明100×100×95mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
和歌山県 (和歌山市)	モルタル (はけ引き)100% (加算) 陶磁器質状吹付 (磁器質系)	角タイル(100mm角 ・白色) 5% 合成樹脂壁紙(並) 32% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% プリント合板 (3mm厚) 10% 和風壁合板 (4mm厚) 34% モルタル(金ごて磨 き) 11%	モルタル(金ごて仕 上げ) 11% モザイクタイル(丸 型・色物) 5% 合成樹脂盤(合成樹 脂表) 34% 軟質クッションフロ ア(中) 5% フローリング(なら ・18mm厚) 34% ラワン合板 (5.5mm厚) 8%	石膏ボード (吸音板) 44% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚)リブ 状) 3% 合成樹脂紙貼 (紙張) 34% モルタル(金ごて仕 上げ) 11%	砂付ルーフィング (シングル葺) 25%	普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm) 網入板ガラス(磨き 板・熱線吸収)
						(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm厚) (アルミニウム) サッシュ(スライド式 ・枠見込70mm厚) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	具
鳥取県 (鳥取市)	モルタル (はけ引き) 6% モルタル(金ごて磨き) 6% コンクリート打放 (並) 88% (加算) 砂壁状セメント系吹付(厚付型セメント) 88%	(加算) 合成樹脂系エマルジョンペイント 11%	クリンカータイル (180mm角) 3%	(加算) 合成樹脂系ペイント (並) 11%	アスファルト防水 (モルタル(目地切)・6層) 100%	サッシュ(すべり出し・枠見込60mm)かまち戸(ガラス) 普通板ガラス(透明・5mm厚) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚)
	モルタル(金ごて磨き) 4% コンクリート打放 (並) 5% 角タイル(100mm角・色物) 3% 石骨ボード (普通板・9mm厚) 7% 合成樹脂壁紙(並) 58%	クリンカータイル (150mm角) 9% 軟質クッションフロア(中) 2% 畳(中) 52% フロリニング(なら・15mm厚) 2% ラワン合板 (5.5mm厚) 8% 単板張合板 27%	ラワン合板 (4.0mm厚) 9% 石骨ボード (普通板・12mm厚) 30% 石骨ボード (吸音板・9mm厚) 4% 石綿セメント板 (普通板・6.3mm厚) 5% コンクリート打放 (並) 5% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 47%			

都道府県 (調査対象市)	外部仕上り	内部仕上り	床仕上り	天井仕上り	屋根仕上り	建具
島根県 (松江市)	陶磁器質状吹付 (磁器質系)100%	砂壁状セメント系吹付 (ひる石系)9%	フローリング(アビ トン・15mm厚) 46% 畳(上) 33% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% 軟質クッションフロ ア(中) 2% 角タイル(100mm・ 角・色物) 1% 防水モルタル(金ご て) 10% コンクリート直仕上 げ(木ごと仕上り) 1%	(加算) 合成樹脂系ペイント (並) 5% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 5%	アスファルト防水 (モルタル(目地切) ・8層) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) 障子(腰付額なし) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(固定式・ 枠見込85mm) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(すべり出し ・枠見込60mm) ドアチエック (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
岡山県 (岡山市)	モルタル(はけ引き) +陶磁器質吹付 (エポキシ樹脂系) 1% 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)99%	ラワン合板 (4.0mm厚) 15% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 73% 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)12%	モルタル(金ごて仕 上げ) 2% 合成樹脂塗床(塩化 ビニル) 1% 角タイル(100mm角 ・白色) 1% モザイクタイル(角 型・色物) 12% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル・2 mm厚) 2% じゅうたん(混毛4 mm) 16% 軟質クッションフロ ア(中) 37% フロリング(なら ・15mm厚) 2% 畳(中) 23% ラワン合板 (5.5mm厚) 4%	脂ペイント 3% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 71% ラワン合板(2.5mm 厚) 2% 陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系)25% ラワン合板 (4.0mm厚)+発泡 合成樹脂 25%	アスファルト防水 (モルタル(目地切) ・8層) 100%	型板ガラス (4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm) (木製) かまち戸(杉) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) サッシュ(固定式・ 粹見込70mm) フラッシュ戸(粹見

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
広島県 (広島市)	小口二丁掛タイル (白色) 71% 陶磁器質吹付(セ メント系) 29%	ラワン合板 (4.0mm厚) 11% 合成樹脂被覆合板 (上・3mm厚) 87% 角タイル(100mm角 ・白色) 2%	モルタル(金ごて仕 上げ) 1% モザイクタイル(角 型・色物) 7% ラワン合板 4% 壁 31% 軟質クッションフロ ア(中) 43% モルタル防水 10% シート防水遊歩用 (合成樹脂系2.0mm	合成樹脂紙貼 (紙葺) 32% ラワン合板 4% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚) 5% 状) 5% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 14% フレキシブル合板 (3mm厚)+砂壁状 合成樹脂吹付(アク リル系) 4%	瓦(洋風瓦・塩焼瓦) 100%	(木製) 板戸(ラワン合板) ふすま(並) 戸ぶすま (鋼製) フラッシュ戸(桧見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・桧見込70mm) サッシュ(すべり出し・

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
山口県 (山口市)	合成樹脂系ペイント (並) 3% モルタル (はけ引き) 9% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 88%	合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 79% ラワン合板 (5.5mm厚) 21%	畳(中) 42% ラワン合板 (5.5mm厚) 11% フローリングプロッ ク(ぶな) 42% 軟質クッションフロ ア(中) 2% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル)	単板張合板 38% 仕上げなし 3%	モルタル防水(ケイ 酸ソーダ系) 100%	桢見込70mm) サッシュ(固定式・ 桢見込70mm) (ガラス) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 磨き板ガラス(5~ 6mm厚) 型板ガラス(4mm厚) ガラスブロック(透 明・193×193×95mm) 障子(腰付額入・ガ ラス共)
	合成樹脂系エマルジ ョンペイント 53% プリント合板 (3mm厚) 9% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% コンクリート打放 (並) 1%	合成樹脂系エマルジ ョンペイント 53% プリント合板 (3mm厚) 9% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% コンクリート打放 (並) 1%	合成樹脂系エマルジ ョンペイント 53% プリント合板 (3mm厚) 9% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% コンクリート打放 (並) 1%	合成樹脂系エマルジ ョンペイント 53% プリント合板 (3mm厚) 9% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% コンクリート打放 (並) 1%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) 戸ぶすま ふすま(並) (アルミニウム) フラッシュ戸(桢見 込70mm) サッシュ(スライド)	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) 戸ぶすま ふすま(並) (アルミニウム) フラッシュ戸(桢見 込70mm) サッシュ(スライド)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
徳島県 (徳島市)	小口二丁掛タイル (色物) 23% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 7.7%	角タイル(100mm角 ・色物) 2% 小口二丁掛タイル (色物) 1% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 5.5% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 3.0% ラワン合板 (4.0mm厚) 4% モルタル (はけ引き) 2%	モルタル(金ごて仕 上げ) 1.5% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% 塩化ビニルタイル (半硬質3mm厚) 5% 畳(中) 25% じゅうたん(混毛4 mm厚) 1.1% 軟質クッションフロ ア(中) 3.4% 仕上げなし 3%	二重回り縁 2.4% モルタル (はけ引き) 2% ラワン合板(4.0mm) 3% 陶磁器質状吹付(セ メント系) 1.8% 合成樹脂塗床(塩化 ビニル) 4.5% 仕上げなし 8%	シート防水非遊歩用 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) かまち戸 (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込60mm) サッシュ(固定式・ 枠見込60mm) (ガラス) 普通板ガラス(透明 ・3mm厚) 型板ガラス(4mm厚)
	2mm厚) 3%	合成樹脂被覆合板 (並・3mm厚) 9% 合成樹脂紙貼 (紙裏) 1% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル状) 1.9%				

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
香川県 (高松市)	コンクリート打放面 補修程度 85% 角タイル(75mm角 ・色物) 15% (加算) 陶磁器質状吹付(ア クリル系) 85%	合成樹脂壁紙(並・ 無地)+石膏ボード (9mm厚) 90% 角タイル(100mm角 ・白色) 2% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% (加算) 断熱材 23%	モルタル(金ごて仕 上げ) 22% 塩化ビニルタイル (半硬質タイル・3 mm厚) 2% 軟質クッションフロ ア(中) 58% 合成樹脂量(合成樹 脂床) 14% ニードルパンチカー ペット 4%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 59% コンクリート打放面 補修程度 27% 合成樹脂被覆合板 (並・3mm厚) 14% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 27% 断熱材 23%	シート防水非遊歩用 (合成樹脂系0.8mm 厚・ポリイソプレン ン系) 100% (加算) 特殊ペイント(防水 塗料) 100%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) サッシュ(スライド 式・粹見込85mm) (アルミニウム) かまち戸(粹見込 70mm) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(固定式・ 粹見込60mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
愛媛県 (松山市)	小口二丁掛タイル (色物) 75% 陶磁器質状吹付(エ ポキシ樹脂系) 25%	合成樹脂壁紙(並・ 色物) 82% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 角タイル(100mm角 ・色物) 2% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 11%	畳(中) 40% モザイクパーケッ ト 13% フローリング(なら ・15mm厚) 2% 軟質クッションフロ ア(中) 24% 着色コンクリート床 13% ラワン合板 (5.5mm厚) 7% クリンカータイル (180mm角) 1%	合成樹脂紙貼 (紙葺) 40% プリント合板 (3mm厚) 40% 石葺ボード(普通板 ・7mm厚) 13% ラワン合板 (3mm厚) 7% (加算) 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系) 13%	着色石綿セメント板 1% シート防水非遊歩用 (合成ゴム系・0.8 mm厚) 24%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) 障子(腰付額なし) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(神見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式 ・神見込60mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・5mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚)

都道府県 調査対象 (都)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
高知県 (高知市)	モルタル(はけ引き) +砂壁状合成樹脂吹 付(アクリル系) 100%	角タイル(100mm)角 ・白色) 5% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 63% ラワン合板 20% モルタル(はけ引き) +陶磁器質状吹付 (エポキシ樹脂系) 3% モルタル(金ごて仕 上げ)+油性ペイン ト 4% モルタル (はけ引き)+色セ メント吹付 5%	プリント合板 22% 畳(中) 58% ラワン合板 (5.5mm厚) 6% 軟質クッションフロ ア(中) 2% モルタル(金ごて仕 上げ) 12%	石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 25% ラワン合板 (4.0mm厚) 6% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚)リブ 状) 3% モルタル(はけ引き) +色セメント吹付 8% モルタル(はけ引き) +砂壁状セメント系 吹付(ひる石系) 58%	アスファルト防水 (モルタル(目地切) ・6層) 100%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) ふすま(並) 板戸(ラワン) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式 ・枠見込60mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込60mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 型板ガラス(2mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)
福岡県 (福岡市)	小口二丁掛タイル (色物) 23% モルタル (はけ引き) 4% 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 11%	角タイル(100mm)角 ・色物) 8% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 81% ラワン合板 (4.0mm厚) 11%	角タイル(100mm)角 ・色物) 1% 合成樹脂畳 (合成樹脂床)25% 軟質クッションフロ ア(中) 41%	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系)35% 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)27% ラワン合板 (4.0mm厚) 16%	塗膜防水(モルタル 保護層あり・合成ゴ ム系) 30%	(木製) サッシュ(スライド 式・枠見込90mm) フラッシュ戸(しな 合板)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	器具
	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 62%		ラワン合板 (5.5mm厚) 16% モザイクタイル(角 型・色物) 1% 合成樹脂塗床(塩化ビ ニル) 1% モルタル(金ごて仕 上げ) 15% (加算) 断熱材 7%	石奇ボード(吸音板 ・9mm厚) 16% プリント合板 (5mm厚) 3% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚)リブ 状) 3%		かまち戸(ラワン) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) アングル戸(粹見込 85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) フロートガラス(5 mm厚)
佐賀県 (佐賀市)	モルタル (はけ引き)+陶磁 器質吹付(磁器質 系) 90% モルタル(金ごて) 3%	角タイル(100mm角 ・色物) 5% 合成樹脂壁紙(並・ 柄物) 24% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 62%	コンクリート直仕上げ (金ごて仕上げ) 14% モザイクタイル(角 型・色物) 1% クリンカータイル (150mm角) 1%	石綿セメント板 (普通板・6.3mm厚) +合成樹脂系ペイン ト(並) 1% ラワン合板 (5.5mm厚) 20%	シート防水非遊歩用 (合成ゴム系・0.8 mm厚) 100%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
	小口二丁掛タイル (色物) 7%	ラワン合板 (4.0mm) 9%	リノリウム・リノ イル 37% 畳(中) 33% フローリング(アビ トン・15mm厚) 18% 軟質クッションフロ ア(中) 1% ラワン合板 (5.5mm厚) 5%	合成樹脂紙貼 (紙葺) 44% 合成樹脂板(塩化ビ ニル・0.8mm厚)リブ 状) 1% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 繊維壁吹付 29%		(アルミニウム) サッシュ(スライド 式・枠見込70mm) サッシュ(固定式・ 枠見込70mm) サッシュ(すべり出 し・枠見込70mm) かまち戸(枠見込 70mm) 自動かまち戸(枠見 込70mm) (ガラス) 普通板ガラス (透明・5mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)
長崎県 (長崎市)	陶磁器質吹付(エ ポキシ樹脂系) 100%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 81% 角タイル(100mm角 ・白色) 4% ラワン合板 (4.0mm厚) 10%	畳(中) 52% 角タイル(100mm角 ・色物) 6% 単板張合板 32% ラワン合板 (5.5mm厚) 10%	プリント合板 (4mm厚) 52% 石膏ボード(吸音板 ・9mm厚) 33% ラワン合板 (4.0mm厚) 10%	アスファルト防水 (露出防水) 2%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並)・(中) (鋼製) フラッシュ戸(枠見 込100mm)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
熊本県 (熊本市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 76% 陶磁器質吹付 (セメント系) 24%	ラワン合板 (4.0mm厚) 16% モルタル(金ごて磨 き) 11% 角タイル(100mm角 ・白色) 2%	フローリング (アビトン・15mm 厚) 27% ラワン合板 (5.5mm厚) 20% 防水モルタル 18%	ラワン合板 (4.0mm厚) 1% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 13% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 68% 仕上げなし 18%	アスファルト防水 (モルタル(目地切) ・3層) 20%	(木製) フラッシュ戸(しな 合板) ふすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm)
	小口二丁掛タイル (色物) 5%			石綿セメント板 (普通板・6.3mm厚) 5% 合成樹脂系ベイント (並) 5%		サッシュ(固定式・ 粹見込100mm) アングル戸(粹見込 100mm) かまち戸(粹見込 100mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込60mm) (ガラス) 網入板ガラス(型板 ・6.8mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚) 普通板ガラス(透明 ・5mm厚) 型板ガラス(2mm厚)

都道府県 (調査対象市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
大分県 (大分市)	砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 100%	石膏ボード (9mm厚) 4% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 67%	モルタル(金こて仕 上げ) 1% モザイクタイル(角 型・色物) 1% 畳(中) 32% リノリウム (2mm厚) 1%	石膏ボード (普通板・9mm) 17% ラワン合板 (4.0mm厚) 5% 石綿セメント板 (フレキシブルボード 普通板)5mm厚)11% (加算) 砂壁状セメント系吹 付(ひる石系)84%	着色石綿セメント板 20%	(アルミニウム) かまち戸(粹見込 70mm) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) (ガラス) 型板ガラス(4mm厚) フロートガラス (3mm厚) 網入板ガラス(磨き 板・6.8mm厚)
	角タイル(100mm角 ・白色) 7% 小口二丁掛タイル (白色) 4% ラワン合板 (4.0mm厚) 8% 石膏ボード(普通板 ・9mm厚) 9% 合成樹脂壁紙(並・ 無地) 29%	角タイル(100mm角 ・色物) 3% コンクリート直仕上げ (金こて仕上げ) 5% モザイクタイル(角 型・色物) 4% 合成樹脂塗床(ポリ ウレタン) 6% ラワン合板 (5.5mm厚) 5% 単板張合板 45%				(木製) サッシュ(スライド 式・粹見込90mm) ふすま(並) (鋼製) サッシュ(スライド 式・粹見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込60mm)

都道府県 (調査対象)市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
		合成樹脂壁紙(並・柄物) 43% (加算) 砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 9%	合成樹脂畳(床) 30% 縁甲板(ラワン) 2%	合成樹脂系エマールジョンペイント 11%		サッシュ(すべり出し・枠見込60mm) 網戸(合成樹脂網)(ガラス) 型板ガラス(2mm厚) " (4mm厚) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚) 磨き板ガラス(5~6mm厚)
宮崎県 (宮崎市)	陶磁器質状吹付(セメント系) 100%	プリント合板(5mm厚) 10% ラワン合板(4.0mm厚) 5% 合成樹脂壁紙(並・柄物) 80% モルタル(金ごて磨き) 5%	モザイクタイル(丸型・色物) 3% 畳(中) 32% モルタル(金ごて仕上げ) 3% 単板張合板 46% ラワン合板(5.5mm厚) 16%	竿縁天井(一重・並) 32% 石荷ボード(吸音板・9mm厚) 44% ラワン合板(4.0mm厚) 16% モルタル(はけ引き) 3% 合成樹脂板(塩化ビニル・0.8mm厚) 5% リン	シート防水非遊歩用(合成ゴム系・0.8mm厚) 100% ふすま(中) 100% (鋼製)	(木製) フラッシュ戸(しな合板) フラッシュ戸(枠見込85mm) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込70mm)(ガラス) 普通板ガラス(透明3mm厚) 型板ガラス(4mm厚) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚)

都道府県 調査対象 市	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	建具
鹿児島県 (鹿児島市)	モルタル (はけ引き) 82% モルタル (木ごて磨き) 18% (加算) 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 82%	合成樹脂壁紙(並・ 無地) 56% ラワン合板 (4.0mm厚) 14% モルタル(金ごて磨 き) 23% モルタル (はけ引き) 7% (加算) 合成樹脂系ベイント (並) 18% 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 7%	畳(中) 31% 単板張合板 21% ラワン合板 (5.5mm厚) 17% 軟質クッションフロ ア(中) 5% モザイクタイル(丸 型・色物) 3% モルタル(金ごて磨 き) 9% 防水モルタル(エマ ルジョン系) 14%	プリント合板 (4mm厚) 34% ラワン合板 (4.0mm厚) 17% 合成紙 旨紙貼 (紙裏) 20% 石膏ボード(普通板 ・12mm厚) 1%未済 モルタル (はけ引き) 28% (加算) 合成樹脂系ベイント (並) 1%未済 砂壁状合成樹脂吹付 (アクリル系) 28%	防水モルタル(エマ ルジョン系) 25%	(木製) フラッシュ戸(合成 樹脂被覆合板・並) 戸ぶすま(並) ぶすま(並) (鋼製) フラッシュ戸(粹見 込85mm) ガラリ戸(粹見込 85mm) 雨戸 (アルミニウム) サッシュ(スライド 式・粹見込70mm) サッシュ(すべり出 し・粹見込70mm) ガラリ戸(粹見込 70mm) フラッシュ戸(粹見 込70mm) 網戸(合成樹脂網) (ガラス) 普通板ガラス(つや 消し5mm厚) 型板ガラス(4mm厚)

都道府県 調査対象 (都 市)	外部仕上げ	内部仕上げ	床仕上げ	天井仕上げ	屋根仕上げ	具 建
沖 縄 県 (那覇市)	モルタル(木こて磨き) 100% (加算) 陶磁器質状吹付 (磁器質系) 100%	角タイル(100mm角・白色) 10% モルタル (はけ引き) 10% ラワン合板 (4.0mm厚) 12% 単板合板 (加算) 68% 油性ペイント 10%	モザイクタイル(角型・色物) 12% 畳(中) 55% 合成樹脂被覆合板 28% ラワン合板 (5.5mm厚) 5%	砂壁状セメント系吹付(ひる石系) 84% 油性ペイント 11% ラワン合板 (4.0mm厚) 5%	コンクリート直仕上げ 50%	(木製) フラッシュ戸(しな合板) ふすま(並) (アルミニウム) サッシュ(スライド式・枠見込70mm) サッシュ(スライド式・枠見込100mm) フラッシュ戸(枠見込70mm) (ガラス) 網入板ガラス(型板・6.8mm厚)

V 参考資料

1 主要建築資材の卸売物価指数

品目	昭和55年1月(A)	昭和58年1月(B)	昭和59年1月(C)	昭和60年1月(D)	昭和61年1月(E)	(B)/(A)	(C)/(A)	(D)/(A)	(E)/(A)
丸太類	101.5	83.5	76.6	75.6	77.0	0.82	0.75	0.74	0.76
じゅうたん	91.7	98.6	98.6	98.6	112.3	1.08	1.08	1.08	1.22
タフテットカーペット	92.6	90.3	83.1	80.7	80.9	0.98	0.90	0.87	0.87
角材	109.5	82.8	70.7	71.9	71.9	0.76	0.65	0.66	0.66
ひき割り材	108.3	82.1	73.5	75.5	74.6	0.76	0.68	0.70	0.69
板材	97.1	88.1	79.2	84.6	81.8	0.91	0.82	0.87	0.84
普通合板	106.9	81.2	77.0	75.4	73.2	0.76	0.72	0.71	0.68
特殊合板	95.1	92.1	89.2	89.0	87.5	0.97	0.94	0.94	0.92
フローリングボード	98.9	89.4	85.4	89.3	90.1	0.90	0.86	0.90	0.91
合板フロアード	96.0	89.9	90.2	86.3	86.3	0.94	0.94	0.90	0.90
パーティクルボード	87.7	89.9	87.3	84.6	84.6	1.03	1.00	0.96	0.96
ファイバーボード	93.6	99.2	97.9	98.6	98.6	1.06	1.05	1.05	1.05
木製ドア	95.4	87.3	89.0	88.5	91.0	0.92	0.93	0.93	0.95
ガラス戸	93.0	94.9	105.2	104.0	104.0	1.02	1.13	1.12	1.12
障子戸	96.0	88.6	82.2	81.0	84.8	0.92	0.86	0.84	0.88
ふすま	96.9	103.5	107.4	105.9	107.4	1.07	1.11	1.09	1.11
アスファルト塗工紙	92.3	99.8	96.9	100.2	98.5	1.08	1.05	1.09	1.07
蛭ヶ形鋼板	96.2	87.2	94.8	91.5	86.4	0.91	0.99	0.95	0.90
小型棒鋼	103.7	82.4	81.2	87.6	74.2	0.79	0.78	0.84	0.72
亜鉛鉛鉄板	92.5	105.0	104.4	104.7	104.7	1.14	1.13	1.13	1.13
亜鉛系表面処理鋼板	93.8	107.2	107.4	107.0	105.5	1.14	1.14	1.14	1.12
ステンレス鋼板	90.7	95.6	94.4	95.5	90.0	1.05	1.04	1.05	0.99
銅板	103.9	77.4	80.4	82.4	76.2	0.74	0.77	0.79	0.73
アルミニウム板	85.7	95.3	101.2	93.5	85.2	1.11	1.18	1.09	0.99
アルミニウム合金板	89.6	93.3	98.7	94.4	86.4	1.04	1.10	1.05	0.96
アルミニウムサッシュ	90.8	97.2	107.9	107.4	108.7	1.07	1.19	1.18	1.20
スチールサッシュ	96.0	106.4	110.8	113.8	113.8	1.11	1.15	1.19	1.19
アルミニウムドア	94.4	99.2	110.8	108.1	108.1	1.05	1.17	1.15	1.15
スチールドア	96.1	105.5	110.9	113.6	131.3	1.10	1.15	1.18	1.37
シャッター	95.8	112.0	110.4	109.0	110.7	1.17	1.15	1.14	1.16
建具用取付具	96.0	100.6	102.0	104.7	105.5	1.05	1.06	1.09	1.10
ボルト	93.6	93.6	96.0	96.3	94.5	1.00	1.03	1.03	1.01
くぎ	94.7	89.7	92.3	89.7	86.1	0.95	0.97	0.95	0.91
金網	95.6	87.5	90.8	90.8	90.2	0.92	0.95	0.95	0.94
プラスチック板	93.8	96.4	103.2	102.0	101.5	1.03	1.10	1.09	1.08
プラスチックシート	94.6	98.2	98.2	98.2	98.2	1.04	1.04	1.04	1.04
プラスチック化粧板	85.7	103.2	101.6	105.6	105.6	1.20	1.19	1.23	1.23
プラスチックタイル	97.6	102.5	93.7	95.1	95.1	1.05	0.96	0.97	0.97
プラスチック発泡製品	92.7	91.8	93.6	92.8	92.8	0.99	1.01	1.00	1.00
油性塗料	92.2	103.5	103.5	103.5	103.5	1.12	1.12	1.12	1.12
ラッカー	93.7	104.4	104.4	104.4	106.6	1.11	1.11	1.11	1.14
合成樹脂塗料	94.0	103.8	103.8	101.9	103.8	1.10	1.10	1.08	1.10
合成ゴム	88.9	109.4	109.4	109.4	107.3	1.23	1.23	1.23	1.21
アスファルト	81.8	108.9	104.7	118.0	118.0	1.33	1.28	1.44	1.44
普通板ガラス	96.9	121.4	121.4	121.4	121.4	1.25	1.25	1.25	1.25
型板ガラス	95.8	119.3	119.3	119.3	119.3	1.25	1.25	1.25	1.25
ガラス短繊維製品	93.4	109.1	107.4	107.4	107.4	1.17	1.15	1.15	1.15
セメント	84.2	105.4	105.4	105.4	105.3	1.25	1.25	1.25	1.25
生コンクリート	91.2	100.7	100.7	92.8	86.4	1.10	1.10	1.02	0.95
石綿セメント板	95.4	101.3	103.6	103.6	103.6	1.06	1.09	1.09	1.09
波形石綿スレート	92.5	101.1	100.0	100.0	100.0	1.09	1.08	1.08	1.08
セメントかわら	88.6	101.8	101.8	101.8	101.8	1.15	1.15	1.15	1.15
厚型スレート	86.1	103.0	103.0	103.0	105.5	1.20	1.20	1.20	1.23
軽気泡コンクリート	95.6	96.7	96.7	99.3	99.3	1.01	1.01	1.04	1.04
粘土がわら	89.8	101.2	101.2	101.2	103.1	1.13	1.13	1.13	1.15
衛生陶器	91.9	108.5	108.5	108.5	108.5	1.18	1.18	1.18	1.18
タイル	93.4	111.0	111.0	111.0	111.0	1.19	1.19	1.19	1.19
石骨	96.4	119.9	107.6	106.9	107.2	1.24	1.12	1.11	1.11
割石	100.0	90.4	91.4	91.4	90.9	0.90	0.91	0.91	0.91
砂	98.3	87.8	88.3	88.3	87.3	0.89	0.90	0.90	0.89
埴土	82.8	94.9	96.5	97.4	89.9	1.15	1.17	1.18	1.09
埴土	107.9	123.2	112.2	121.6	130.6	1.14	1.04	1.13	1.21

(日本銀行調、昭和55年平均=100)

2 R C造居住専用建物の工事費予定額等

項目 県名	棟数 (A)	床面積合計 (B) (㎡)	工事費予定額 (C) (万円)	1.0㎡当たり 工事費単価 (C/B) (円)	一棟当たり 延べ床面積 (B/A) (㎡)
北海道	1,155	876,021	10,961,871	125,133	758.46
青森	80	42,004	5,455,83	129,888	525.05
岩手	72	47,104	5,413,08	114,918	654.22
宮城	308	165,224	2,218,783	134,289	536.44
秋田	47	42,253	5,790,05	137,033	899.00
山形	83	31,596	3,253,29	102,965	380.67
福島	176	95,838	1,219,258	127,221	544.53
茨城	396	147,486	1,962,611	133,071	372.44
栃木	191	129,336	1,635,254	126,435	677.15
群馬	251	177,255	2,198,066	124,006	706.20
埼玉	976	950,033	13,618,049	143,343	973.39
千葉	847	595,042	8,985,563	151,007	702.53
東京	5,773	3,130,388	55,789,506	178,219	542.25
神奈川	2,991	2,098,027	33,025,729	157,413	701.45
新潟	227	87,483	1,249,518	142,830	385.39
富山	194	85,506	1,065,924	124,661	440.75
石川	141	88,957	1,176,430	132,247	630.90
福井	159	72,033	883,957	122,716	453.04
山梨	134	112,480	1,401,433	124,594	839.40
長野	351	138,499	1,822,687	131,603	394.58
岐阜	405	154,800	1,918,030	123,904	382.22
静岡	818	392,281	5,231,606	133,364	479.56
愛知	2,610	1,391,451	16,974,252	121,990	533.12
三重	346	129,910	1,595,373	122,806	375.46
滋賀	159	88,778	1,179,963	132,912	558.35
京都	686	414,788	5,634,482	135,840	604.65
大阪	1,886	1,598,097	21,334,688	133,501	847.35
兵庫	1,723	1,067,984	14,241,298	133,347	619.84
奈良	526	225,431	2,678,968	118,838	428.58
和歌山	339	103,927	1,412,236	135,887	306.57
鳥取	69	24,045	300,778	125,090	348.48
島根	88	50,243	637,990	126,981	570.94
岡山	233	100,165	1,208,629	120,664	429.89
広島	1,084	410,513	5,420,938	132,053	378.70
山口	698	181,143	2,269,211	125,272	259.52
徳島	320	115,735	1,389,391	120,049	361.67
香川	276	133,915	1,589,704	118,710	485.20
愛媛	574	252,771	2,875,281	113,750	440.37
高知	291	107,898	1,377,788	127,694	370.78
福岡	1,421	886,094	10,067,288	113,614	623.57
佐賀	68	41,354	484,265	117,102	608.15
長崎	415	148,772	1,737,903	116,817	358.49
熊本	284	119,980	1,348,939	112,430	422.46
大分	272	124,086	1,270,027	102,351	456.20
宮崎	254	126,785	1,382,969	109,080	499.15
鹿児島	1,053	309,837	3,517,755	113,536	294.24
沖縄	5,042	845,259	10,217,281	120,878	167.64
全国計	36,492	1,865,8607	26,050,2897	139,615	511.31

(昭和62年度版 建築統計年報 建設省建設経済局)

